

営繕工事記録写真撮影要領

令和4年（2022年）4月

北海道建設部建築局

営繕工事記録写真撮影要領		頁
撮 影 要 領		1 ~ 3
撮影対象基準	別表(1)~(2)	4 ~ 24
	別表(3)	25 ~ 30
	別表(4)	31 ~ 35
完成写真撮影基準	別表(5)	36 ~ 38
	別図	39
デジタル工事写真の小黑板情報電子化について		40
記録写真編集基準		41
デジタル写真フォルダの編集例		43
デジタル写真整理一覧表(建築)		44 ~ 48
同	上 (電気)	49 ~ 50
同	上 (機械)	51 ~ 52

営繕工事記録写真撮影要領

1 目的

この要領は、営繕工事の工事工程、でき形確認及び工事完了等の工事記録写真の撮影及び整理に係る基本的事項を定め、請負人が工事の経過及び施工管理、でき形・品質管理等を適切に記録することを目的とする。

2 適用範囲

この要領は、北海道建設部建築局が発注する営繕工事写真に適用する。
ただし、北海道建設部土木工事共通仕様書を適用する工事においては、この要領は適用しない。

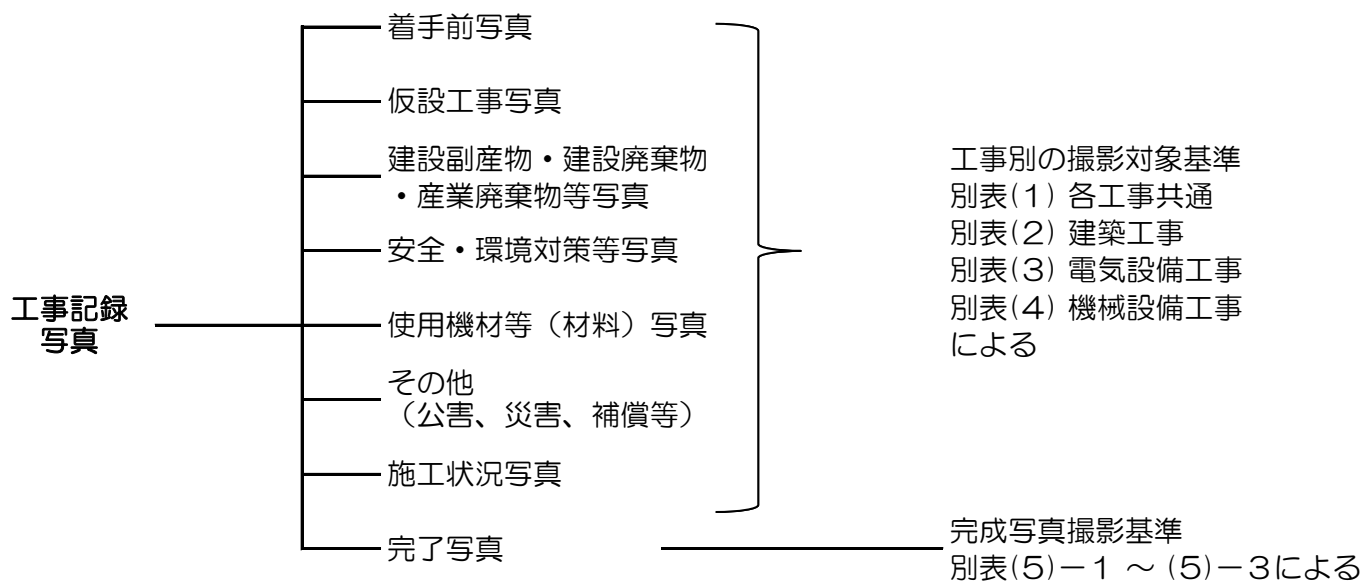
3 工事記録写真の役割と重要性

請負人は、工事記録写真が、工事の着手前から完了までの使用材料や施工状況を撮影することで、完成後不可視となる部位をはじめ、全ての施工過程が適切に実施されたことを証するものとして、次のような役割を持っていることを十分認識して記録しなければならない。

- a 工事経過の記録 どのように施工されたかを示す。
- b 使用材料の確認 どのような材料が使用されたかを示す。
- c 品質管理の確認 どの程度の施工精度で出来たかを示す。
- d 維持保全の資料 将来の補修等の検討利用資料として。
- e 問題解決の資料 完成後の問題発生時の原因究明資料として。

4 工事記録写真の分類

工事記録写真は、その対象によって次のように分類する。



5 工事記録写真の撮影

1) 撮影の方法

a 撮影内容

工事工程写真には、次の要素が確認できるように撮影する。

- ① 施工時期、工程、加工の前後等
- ② 施工箇所、部位等
- ③ 工事種目、分類等
- ④ 施工状況、施工内容
- ⑤ 設計及び出来形寸法、規格、表示マーク等
- ⑥ 自主検査や社内検査等で立会・確認者がいる場合、その立会、確認状況

b 撮影方式

① 小黒板の記入

写真には、前記 a の撮影内容並びにその他監督員と協議して必要と認められる事項を表示した別図に示す小黒板及び必要に応じてスケール等を被写体とともに写し込む。

なお、デジタル工事写真において小黒板情報電子化を行う場合は別添「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」によるものとする。

② でき形等に係る主要寸法等の写し込み

撮影対象には必要に応じて基準線（下げ振り、水系等で示す）を設定し、でき形や規格値との誤差等を確認するためのスタッフ、スチールテープ、リボンテープ等による主要寸法の計測状況を被写体とともに写し込む。

2) 撮影の対象等

- a 工事着工前から完成に至るまでの工事工程全般を撮影するものとし、撮影対象等の基準は別表(1)～(4)に示すとおりとする。
なお、別表(1)～(4)によることができない場合は、監督員の指示を受けて内容を変更することができる。
- b 改修、解体及び移設工事の場合は、原則、全ての施工部位・施工箇所等について着工・着手前の状況を撮影する。
- c 工事現場と違う場所(工場等)で製造・製作・加工・組立される主要部材(鉄骨・プレキャストコンクリート・建具・製缶類)の撮影にあたっては、特に上記5-1)の漏れがないように注意すること。
- d 工事の完了写真は、完了状況全般を撮影する。
その撮影対象等の基準は別表(5)による。
- e 次の場合は、撮影の全部又は一部を省略することができる。
 - ① 品質管理に係る写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管・整備できる場合は、撮影を省略することができる。
 - ② 出来形の管理に係る写真について、完成後測定可能な箇所は、出来形管理状況の分かる写真を種類等細別毎(例：柱や梁の形状毎)に1箇所撮影し、後は省略することができる。
 - ③ 監督員が臨場して確認を行った箇所について、その確認状況が写真以外の記録により管理・整備できる場合は、種類等細別毎(例：柱や梁の形状毎)に1箇所を撮影し、後は省略することができる。

3) 撮影の留意事項

- a 撮影に係る工事担当者は、施工計画に基づき撮影の日時、方法、密度等を現場内に周知し、撮影時期を逸することのないよう適切かつ的確に撮影を行う。
工事工程上で、後日の撮り直しが困難な工事にあつては、撮影後、早急に写真の良否又は記録状態を確認する。
- b 不可視となる部位については、後日、その施工状況等が確認できるよう、十分留意して撮影し、その出来形については、寸法を計測した目盛り等が確実に読み取れるよう、特に注意する。
- c 撮影内容が複雑或いは分かりにくいと思われる場合は、必要に応じてその撮影内容に関する設計図書や施工図等を添付するなど説明を加えること。
- d 被写体のアップなど撮影の構図上、小黒板を写し込めない場合は、整理の際、写真脇に撮影内容を記載する。
- e 検査時に気象条件等のために不可視となる部位等(屋上防水、屋外給排水、外構工事等)が想定されるときは、その完了状況確認が写真のみによる場合を考慮し、完了状況写真は必要に応じて全景から詳細部分まで撮影するなど留意する。
- f 自主検査や社内検査での手直し及びその完了状況は必ず撮影し、特に完成時に不可視となる部位等については、後日、その確認が写真のみによることを考慮し、必要に応じて全景から詳細部分まで撮影漏れなどのないよう十分留意する。
- g イメージアップや創意工夫、高度技術については、その施工内容等を分かり易く撮影するものとし、整理の際、必要に応じて説明を加えること。

6 工事記録写真の規格等

1) 撮影に使用する撮影器具等

撮影に使用する撮影器具等は次のとおりとする。ただし、これによりがたい場合は、工事監督員と協議する。

- a 原則として撮影器具はデジタルカメラとする。
- b 写真については、必要な文字、数値等の内容の判読ができる機能、精度を確保できるものとし、仕様は次に示すものとする。

有効画素数	100万画素程度から300万画素程度
記録画	1,200×900ピクセル程度から2,000×1,500ピクセル程度
ファイル形式	JPEG

2) 工事記録写真の原本

原本は、記録媒体(CD-R等)に記録したデジタルカメラのデータとする。

7 工事記録写真の整理等

1) 撮影内容の確認

- a 請負者は、デジタルカメラの撮影データの内容を、速やかに確認し、整理する。
- b 撮影した写真は、監督員に提出して確認を受けた後、工事記録写真帳で整理する。

2) 工事記録写真帳の整理

別紙「営繕工事記録写真編集基準」により整理する。

8 工事記録写真の編集及び提出

1) 提出部数及び方式

- a 工事記録写真帳は、原則、電子媒体とする。
- b 工事完成時、工事記録写真の原本と工事記録写真帳を各1部提出する。
- c 工事記録写真帳は各検査（検査員が行う工事完成検査、でき形部分検査、指定部分完成検査、中間検査等）の際、検査員に提示する。

2) 工事記録写真帳の形式

- a 電子媒体で提出する工事記録写真帳の様子は監督員と協議の上、決定する。
- b 工事記録写真帳は、A4判に原則、2枚又は3枚の写真が収まるアルバムにより、編集・整理したものとする。
- c 写真の編集方式は、原則、着工前の時点から各工種の工事工程毎に順次整理し、その後に別表(5)による完成写真一式を綴る。
- d 工事区分が複数の場合（例：母屋と付属棟、渡廊下、A棟とB棟、建物と外構）の写真整理は、原則、それらの区分毎に別冊の工事記録写真帳にするなど、混同しないように整理する。
- e 別発注の工区、工事や追加工事がある場合、請け負った工事と別発注工事等との区分を写真に明記し、工事範囲を明確にする。
- f 合併工事（建、電、管、外構）の場合は、原則、写真は各工種毎に区分して編集・整理する。

附 則

- 1 (施行)
この基準は、平成21年8月19日から施行する。

- 2 (適用緩和)
施行日において既に工事着手し、かつ施行日以降に完成する工事で、この要領により難しい場合は、なお従前の例による。

附 則

- 1 (施行)
この基準は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

- 1 (施行)
この基準は、令和4年4月1日から施行する。

- 2 (適用緩和)
施行日において既に工事着手し、かつ施行日以降に完成する工事で、この要領により難しい場合は、なお従前の例による。

撮影基準

別表(1) 各工事共通

工種	撮影項目	撮影対象	要領及び注意事項	備考
1 共通事項	敷地内外の状況	敷地の状況	着工前の工事場所の現況を各方向から撮影する。 完成写真との対比を意識した構図で撮影する。 全体が解りにくい場合は、高所からの俯瞰撮影も考慮する。	
		敷地の境界	敷地の境界・標識等の状況を撮影する。	
		既設・近隣建物等	既設建物、工作物等は工事中に損傷を与えた場合等の証拠となるため、必要と思われる範囲を撮影する。	
	障害物	埋設物等障害物と処理	障害物の現状形状、寸法、処理状況等を撮影する。	
	建設副産物・建設産業廃棄物・リサイクル	廃棄物等の状況	対象物の現況を撮影する。	
		廃棄物等の集積・分別	対象物の発生状況と敷地内での分別・収集・整理・集積状況を撮影する。	
		廃棄物等の搬出	対象物の積込・搬出・運搬経路・受入先の状況・荷下ろし・計量等の状況を撮影する。 運搬車両は同一車両を撮影する。	
		処理施設等	再資源化施設、中間処理施設、最終処分場(直接最終処分の場合)の許可看板・施設名称を撮影する。	
		リサイクル処理	再資源化の処理状況を撮影する。	
		再生資源の利用	再生砕石等の再生資源の利用状況を撮影する。	
		発生材	引渡と場外搬出の区分整理と、整理・集積状況を撮影する。 有価物は計量・引渡等の状況を撮影する。	
	安全対策等	足場管理	足場の設置状況(手すり・巾木・階段・落下防止網・歩み板、積載重量の表示、通路巾の確認等)を撮影する。 手すり先行足場では資材搬入時検証も撮影する。	
		労災管理	積載重量の表示、現場内の安全通路、消火器等の設置状況、安全委員会のミーティング状況、安全パトロール、その他労働安全衛生上必要な事項を撮影する。	
		交通対策	現場内外で行なっている安全対策に基づいて撮影する。(誘導員、バリケード、安全ロープ、誘導鏡、標識、進入口の清掃状況等)	
		環境対策	環境関係調査の実施状況、現場及び周囲の清掃、騒音・汚濁防止対策処置等の状況を撮影する。	
	仮設物・掲示物	監督員詰所等	表示板等で監督員事務所、請負人事務所が判断出来るように留意して撮影する。	
		資材置場・機材置場	危険物の貯蔵の場合は、特に表示や責任者名、養生状況も含めて判読できるように撮影する。	
		その他仮設物	工所用仮設電気の引込(仮設電柱の建柱・配線・電気盤)、工所用仮設給排水設備の設置、仮設便所・作業員休息所等の設置仮設物を撮影する	
		許認可標識等	建設業許可関係、建築確認済、労災関係成立、道路使用・占用許可等の表示板を撮影する。	
	使用機械	機械とその仕様	機械の全景と機種・規格・仕様・能力の表示内容を撮影する。 排出ガス対策型の表示を撮影する。	
	使用材料	材料とその保管状況	形状寸法のほか、F☆☆☆☆表示等の材料の規格・仕様を示す部分も撮影する。 材料の集積・保管・養生等の状況は、工事仕様書・JASS・メーカーの保管条件等の規程に合致していることに留意して撮影する。	





工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
	数量確認	必要数量	構造材料以外で、施工後特に数量確認が困難な材料を、規格・仕様・製造者名・商標なども解るように撮影する。	
	試験	試験状況	品質管理上要求しているデータ確認のための試験であるので、撮影に試験要件の漏れがないように留意する。 試験に立会者がいる場合は必ず入れて撮影する。	
	災害及び事故	事故状況・復旧状況	災害及び事故が発生次第、速やかに撮影する。 復旧方法の検討・損害確定・補償等、後日での利用を意識して、証拠写真としての必要要件が欠けないように留意して撮影する。	
	解体及び改修・移設に伴う解体	着 工 前	改修前及び、解体前写真を撮るときは施工完了後に施工比較が出来るように周囲の風景等を入れて全景を撮影する。	
施工状況		人力解体・機械解体の状況が解るように撮影し、機械解体の場合は使用機械の稼働状況を撮影する。 各工種工程別に撮影し、解体材は上物と基礎の撤去状況が解るように撮影する。 解体材の分別・整理・集積・積込・搬出・受入処分場等の処理に関しては、産業廃棄物等の例に依って撮影する。		
完 了		整地完了後に着工前と同一方向で撮影する。		
	完 成		別表（５）による	

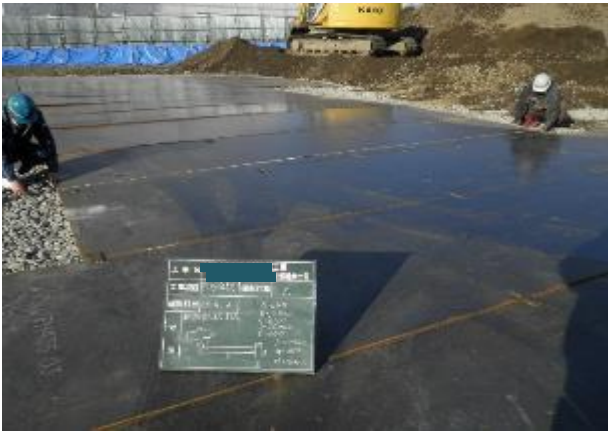
撮影基準

別表（２） 建築工事

工種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考	
2	仮設工事	縄張り	全 景	監督員の確認を受けた状況を撮影する。 付属建物、浄化槽等の施設用も撮影する。	
		バソマーク (B.M)	全 景	B.Mの位置、養生及び設計GLとの関係表示を撮影する。	
		遺 方	施工状況	設計GLとの関係表示、逃げ杭を撮影する。 現場専用使用する基準巻尺とそれを使用しての測定状況を撮影する。	
			完 了	監督員の確認後に全景を撮影する。	
		仮囲い・ゲート	完 了	高さ・延長・工種等の設置状況をスケールとともに撮影する。 周囲との位置関係が解るように留意して全景を撮影する。 指定仮設の場合は、特に数量等の照合が可能なように撮影する。 【見本例：仮囲い一面の全景及びスケール設置状況】	



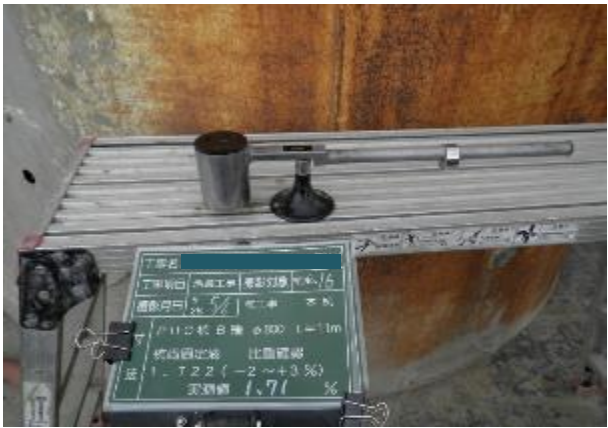

工種	撮影項目	撮影対象	要領及び注意事項	備考
			<p data-bbox="826 146 1525 184">【見本例：仮囲い一面長さのスケール始点の数値写真】</p>  <p data-bbox="826 627 1525 665">【見本例：仮囲い一面長さのスケール終点の数値写真】</p>  <p data-bbox="826 1108 1321 1146">【見本例：仮囲い一面高さの測定状況】</p>   <p data-bbox="826 2023 1207 2061">【見本例：敷き鉄板設置状況】</p> 	

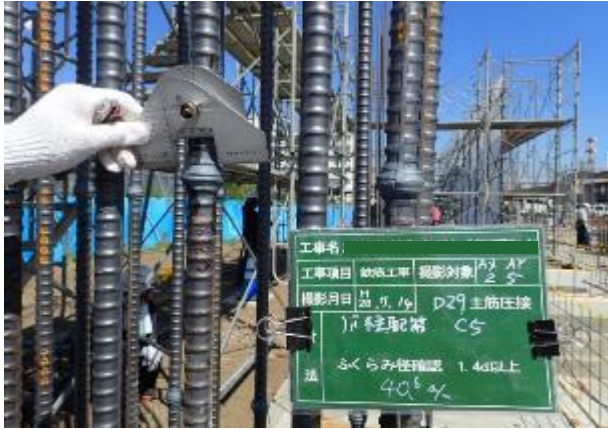

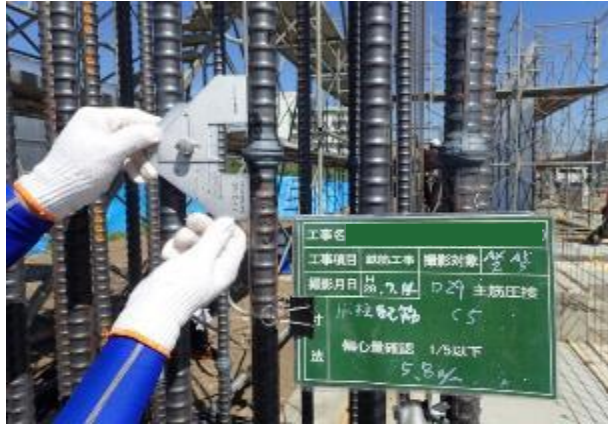
工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考	
			<p>【見本例：敷き鉄板計測状況】</p> 		
	仮設道路	着 工 前	着工前の全景を撮影する。		
		施工状況	<p>仮設道路は、本工事中に原形がなくなるため、鉄板敷・砂利敷き等の各養生工程及び仕上げの内容が判断出来るように留意して撮影する。</p> <p>使用機械・機材及び使用材料の種類・規格が解るように撮影する。</p> <p>ランマーでの転圧作業状況を撮影する。</p>		
		出来形	砂利厚、道路幅（砂利敷幅）の出来形をロット、棧木等を用いて撮影する。		
		完 了	<p>全景を撮影する。</p> <p>指定仮設の場合は、特に数量等の照合が可能なように撮影する。</p>		
	仮設排水	水替え・放流先の状況	<p>使用機種及び台数が分るように撮影する。</p> <p>鎮砂槽等の処理状況を撮影する。</p>		
3	土工事	地 割 り	施工状況	石灰等で線引きし、全景を撮影する。	
		山 止 め	山止め材	<p>矢板等架設材の形状、寸法を撮影する。</p> <p>組立順序、工法に注意し使用機種を入れて撮影する。</p> <p>矢板等の数量が確認出来るよう留意する。</p>	
			完 了	<p>全景を撮影する。</p> <p>土圧の測定器及び測定状況(1日2～3回)を撮影する。</p>	
			抜取り	<p>使用機種を入れて撮影する。</p> <p>抜取り後の砂の充填状況を撮影する。</p>	
		根 伐	施工状況	<p>使用機種が判るように撮影する。</p> <p>直接基礎、ラップルの場合は支持層が確認できるように撮影する。</p>	
			杭間ざらい	作業状況を撮影する。	
			床 づ け	ランマー等の転圧状況を撮影する。	
			完 了	<p>遺方を入れた全体を撮影する。</p> <p>根伐深さを撮影する。</p>	
		埋 戻 し (盛土)	施工状況	<p>使用機種及び転圧状況(一定厚ごとの締め固め)を撮影する。</p> <p>山砂、根伐土流用等の工法を確認できるように撮影する。 (埋戻し状況、水締状況)</p>	
			完 了	全景を撮影する。	
		整 地	全 景	全景を撮影する。	
		残土処分	土砂搬出	<p>使用機種を入れて撮影する。</p> <p>残土積込と捨場荷卸は同一車輛を撮影する。</p>	
			捨場状況	周囲の風景を入れて残土搬入前、捨土均し、捨土均し後の状況を撮影する。	
			完 了	捨土前と同一方向で全景を撮影する。	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
4 地業工事 (1)杭打地業	杭事業共通	杭材運搬・搬入	荷台積載状況、杭降しの状況を撮影する。 杭頭に「通し番号」を記入し、種別ごと（規格、径、長さ、継杭別）に本数が確認できるように撮影する。	
		杭材集積	集積用の支持角材の水平設置を撮影する。 種別ごとに集積した状況を撮影する。	
		杭材料・規格	杭メーカー、製造年月日、寸法、JIS表示 杭種、杭径、杭長、杭先形状（閉塞、ペンシル等）を撮影する。 杭径はロットを使用する。 杭長は1m毎（杭先端を0とし、杭頭を全長とする）に目盛をつけて撮影する。 全本数を撮影する。	
		使用機械	機械（杭打機・発電機・プラント・セメントサイロ等）搬入と全景、能力・規格の表示内容を撮影する。	
		アースオーガー	オーガードリルの径、長さを撮影する。 掘削長さをスプレーでオーガーに表示し、スケールを当てて撮影する。	
		やっこ	径・長さを撮影する。	
		杭芯の確認	芯出し状況、通り芯計測状況を撮影する。 監督員の検査を受けた後全景を撮影する。	
		継手溶接材	商標を撮影する	
		継手の施工	施工状況を撮影する。 杭の位置、番号、上・中・下杭、溶接層別、溶接方法が解るように撮影する。 溶接の仮付け又は二層目の本付け後、スラグの除去及び錆止め塗布をした状況を撮影する。	
		杭の芯ずれ測定	杭の芯ずれの測定状況と、全本数の測定結果（直交2方向）を撮影する。 通り墨が薄く判別しにくい場合は、通り墨全体写真と各杭頭部の拡大写真とを併用する。	
		芯ずれ補強	補強方法及び施工状況を撮影する。 ベースごとに補強状況が解るようにスケールをあて撮影する。	
		杭頭補強	補強を要する箇所を全て撮影する。 鉄筋径・本数・長さ・フープ径等が解るように撮影する。	
		キャップ	杭穴のキャップの状態を撮影する。	
	全 景	打設時の本杭は全本数を撮影とする。 完了状況を捨コン打設後墨出しをし、各通りごとに全本数がわかるように撮影する。		
	打込み杭 (打撃工法)	養 生	騒音防止等の特記で指定がある場合は、その養生の状況を確認できるよう撮影する。 周辺の騒音、振動の測定状態を撮影する。	
		試験杭	設計図書の高さ及び沈下量を得るまで打込む。 杭に表示した目盛又は数字を撮影する。	
		建 込	直角2方向から、トランシット等で垂直確認している状況を撮影する。	
		やっこ	施工状況を撮影する。	
		記 録	最終貫入量及びリバウンド量の測定状況を撮影する。 全本数を記録する。	
		杭頭切断	パイルカッターによる斫りの施工状況とカットラインより10cm程度の上部を撮影する。	
杭頭切揃		切揃後全景を撮影する。		

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
	埋込杭 (プレ-リグ・ 中掘り工法)	掘削状況	直角2方向から、トランシット等で垂直確認している状況を撮影する。	
		掘削残土	オーガーの残土搬出又は敷均し状況を撮影する。	
		試験掘削・支持層確認	<p>支持層採取状況を撮影する。 採取サンプルを地盤調査資料と対比した状態で撮影する。 【見本例：採取サンプルと地盤調査資料の対比状況】</p> 	
		試験杭・本杭建込	<p>全本数を撮影する。 直角2方向から、トランシット等で垂直確認している状況を撮影する。 【見本例】</p> 	
		支持層の確認	<p>トラブル時の対処として、次のとおり写真撮影する。 ・アナログ電流計の場合は電流計記録紙を撮影 【見本例：支持層到達時の記録状況】</p>  <p>・積分電流計の場合はモニタ画面を撮影 【見本例：支持層到達時の瞬間電流値】</p> 	


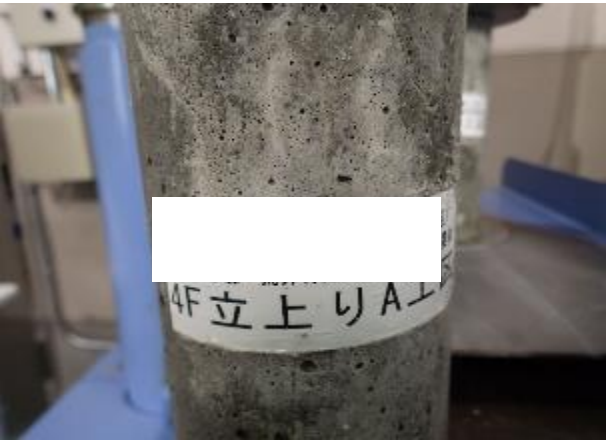
工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
			<p>【見本例：支持層到達時の積分電流値】</p> 	
		根固め液・杭周固定液材料	<p>材料・規格が判別できるように撮影する。 使用セメント量が解るように撮影する。</p>	
		液の調合・計量	<p>セメントと添加剤の調合及び調合量の測定状態を撮影する。</p> <p>調合計画と計量値、調合量を撮影する。 【見本例：セメントサイロの流量計数値確認状況】</p>  <p>【見本例：比重計数値計測状況】</p> 	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考	
					
		液の注入	<p>セメントミルクの注入量と注入圧力が解るように撮影する。</p> <p>【見本例：モニタ画面の液の注入量表示】</p> 		
		液のサンプル採取	<p>採取箇所（杭番号）が解るように採取の状況を撮影する。</p> <p>サンプルの保管状況を撮影する。</p>		
		汚泥処理	<p>汚泥の発生状況について撮影する。</p> <p>産業廃棄物処理と照合できるように留意して撮影する。</p>		
		サンプルの強度試験	<p>圧縮試験の撮影は試験体1本毎に写す。</p> <p>(立会人と氏名を必ず入れる。)</p>		
5	(2)切込・砂利地業	締め固め	施工状況	締め固めの機種と回数が解るように撮影する。	
			出来形	厚さの設計値と実測値が解るように撮影する。	
	(3)捨てコンクリート	施工状況	完了	全景を撮影する。	
			型枠取付	高さ・寸法を撮影する。	
			出来形	厚さ、幅をロット等を使用して撮影する。	
	(4)床下防湿層	防湿シート	完了	墨出しし、通り芯が解るようにして、全景を撮影する。	
			材 料	シート包装紙の材料規格を撮影する。	
			施工状況	重ね代が解るように撮影する。 基礎梁などで呑み込み深さが明確になるように撮影する。	
	共 通	材料の表示	<p>種別ごとのラベルプレートを撮影する。(JIS表示、製造番号、寸法、工場が判ること)</p> <p>工場加工の場合は、製造所の判別用ロールマークも撮影する。</p>		
		材料の保管	<p>種別ごとの保管と養生の状況を撮影する。</p> <p>工場加工の場合は、工場の保管状況も撮影する。</p>		

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
		配 筋	<p>寸法、断面、配筋の異なるものを対象とし、工種（施工部位等）ごとの施工状況と組立完了全景を撮影する。</p> <p>継手、定着（位置・長さ）、フック、結束状態、スペーサ等の状態を撮影する。</p> <p>間隔・長さ等計測状況は全てスケール等を一緒に写し込む。</p> <p>色つきマグネット等を鉄筋に付け、径・方向別に識別できるようにして撮影する。</p> <p>監督員、工事監理者、現場代理人、社内検査員等の検査・立会状況を撮影する。特に試験成績を要するものは必須なので留意する。</p>	
		補 強 筋	貫通部・開口部廻り、出隅・入隅等に設ける補強筋の配筋状況(径・本数・長さ)を撮影する。	
		圧 接	<p>圧接端面の処理状況を撮影する。</p> <p>圧接状況を撮影する。</p> <p>圧接部のふくらみの直径及び長さ、形状、圧接面、鉄筋中心軸の偏心等に注意して撮影する。</p> <p>【見本例】ふくらみの直径</p>  <p>【見本例】ふくらみの長さ</p>  <p>【見本例】偏心量</p>  <p>圧接技能有資格者が判別できるように撮影する。</p>	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
		試 験	超音波探傷試験の探傷器具及び探傷の状況を撮影する。 超音波探傷試験の有資格者が判別できるように撮影する。 抜き取り試験では、試験の前後の状況等（試験片抜き取り・引っぱり曲げ試験・再圧接）が比較出来るように撮影する。	
		溶接金網	径及び完了全景を撮影する。	
	基 礎	ベ ー ス	主筋・ダイヤ筋（配筋間隔）・フック等の配筋状況を撮影する。 ベース筋のみ単独に種類別に撮影する。	
		地 中 梁	主筋本数・間隔の確認（端部、中央部）、スターラップ、幅止め筋の配筋状況、フーチングとの取り合い等を撮影する。	
		布 筋	縦、横筋（配筋間隔）の配筋状況を撮影する。	
	軀 体	柱 筋	主筋（径・本数・配筋間隔）、フープ筋、ダイヤ筋の配筋状況、主筋の折曲げ・継手位置、柱脚定着長さ、頭部処理等を撮影する。 対面撮影やマグネット等の高さをずらして撮影するなど、各面の配筋状況がわかるように撮影すること。 【見本例：対面撮影】  【見本例：マグネット等の高さずらし撮影】 	2

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
				
		梁 筋	<p>主筋（端部、中央部）の径・本数・間隔・定着長さ、スタラップ、幅止め筋（配筋間隔）、吊上げ筋等を撮影する。 撮影は、梁落としをする前に撮影するなど、梁底の配筋状況がわかるように撮影する。</p> <p>【見本例：梁落とし前の撮影】</p>  <p>【見本例：梁下端主筋の接写】</p> 	2
		壁 筋	縦・横筋及び幅止め筋の径・配筋間隔を撮影する。	
		床版筋	縦・横筋及び上・下筋の径・配筋間隔を撮影する。 各設備の配管、スリーブ等取付後の全景を撮影する。	
		階 段	流し筋・段鼻筋・稲妻筋及び踊り場の配筋、階段筋の呑み込み、スラブとの取り合い等を撮影する。	
		屋 上	床版は躯体と同じ。 ドレン廻り、パラペット、庇、煙突の配筋状況を撮影する。	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考	
6	コンクリート工事 (1)現場施工 コンクリート	型 枠	材 料	型枠資材の材料規格を撮影する。 資材搬入後の集荷状況を撮影する。 剥離材及び塗布状況を撮影する。	
		墨 出 し	墨出しの状況と完了後の全景を撮影する。		
		建 込 み	柱枠、壁枠、床版枠、階段枠、煙突枠等の締付け状況を撮影する。 垂直、水平の確認作業の状況（下げ振り、トランシット等）を撮影する。 断熱材打ち込みの場合は、規格・厚さ・設置位置・設置寸法が解るように撮影する。		
		完 了	枠幅寸法、建入寸法、全長を撮影する。 通り検査は、通り芯が判明しやすいように留意して撮影する。 支保工設置後の全景を撮影する。		
		取 外 し	作業状況を撮影する。 取り外し後の型枠材の整理・集積・選別・再利用・廃棄等の状況が明確になるように撮影する。		
	打 設	鉄筋の養生	ノ口防止・打継ぎ面の養生・道板足場の設置状況などを撮影する。		
		型枠の養生	打設前の清掃及び散水状況を撮影する。		
		試し練り	現場練りコンクリートの場合は、材料及び試し練りの実施状況を撮影する。		
		テストピース	テストピースの採取及びスランプ値等の測定状況を撮影する。 テストピースの養生・保管の状況を撮影する。 テストピースのマーキング状況及び圧縮強度試験時のマーキングの照合状況を撮影する。 【見本例：テストピースのマーキング撮影】	3	
					
					

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
			 <p>【見本例：マーキングの照合撮影】</p> 	
		塩分試験	生コンから採取の状況を撮影する。 特記に指定された試験方法が確認できるように撮影する。 測定結果の一覧を撮影する。	
		強度試験	圧縮試験の撮影は試験体 1 本毎に写す。 (立会人を必ず入れ、黒板に立会人の氏名を記入する)	
		打設状況	ミキサー車、ポンプ車、バイブレーターの使用を含めた全体の打設状況を撮影する。 タンピング・鍍押さへの状況を撮影する。 打設仕上がり面の平坦確認状況を撮影する。 打設後の養生を撮影する。	
		打 継 ぎ	打継ぎ位置及び打継面の処理を撮影する。	
	脱型後	補 修	穴埋め、錆止め処理状況を撮影する。	
		出 来 形	各部位の高さ・幅・厚さ（開口部木口面の計測含む）・断熱材の厚さを撮影する。 完了全景を撮影する。	
2)工場製作 コンクリート(P C・P S)	製 作	型枠の検査	型枠製作状況及び型枠寸法計測を撮影する。	
		配筋状況	5 鉄筋工事の配筋に準ずる。	
		取付金物	取付金物の規格・商標等を撮影する。 部材取付金物の型枠へのセッティング状況を撮影する。	
		コンクリート・グラウト	品質管理上要求されている試験等を撮影する。	
		製作完了	監督員、工事監理者、現場代理人、社内検査員等の製作版の検査・立会状況を撮影する。	
	取 付	施工状況	躯体と取付金物との間隔、版相互の間隔が許容範囲内であることが確認できるように撮影する。 取付金物の締付け強度が確認できるように撮影する。 目地・バックアップ材・シーリング材の施工状況は、10 防水工事に準じて撮影する。	
	その他	プレストレスの導入状況	プレストレスコンクリート版にあっては、プレストレス導入状況が解るように、設計値と実測値の比較、版の短縮量・縦横のたわみ量など、制作時及び取付時のそれぞれを、機械の測定値を含めて撮影する。	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
7 鉄骨工事	工場加工	材 料	工場での鋼材受入れ検査状況（材質・板厚・幅・長さ・製造番号等）を撮影する。 溶接棒等の使用材料の品種、規格等を撮影する。	
		現寸検査	現寸検査の状況、テープ合わせ等の状況を撮影する。	
		加工・溶接状況	開先の加工・測定作業、溶接作業、仕上げ作業を撮影する。 回転ポジションナーなどの器具を使用しての溶接作業等は器具も含めて撮影する。	
		加工完了	仕上げ完了後の鋼材の製品検査を撮影する。	
		超音波探傷試験	超音波探傷試験の探傷器具及び探傷の状況を撮影する。 試験の有資格者が判別できるように撮影する。	
		スタッドボルト	径・長さとの溶接機の電流・電圧の確認状況を撮影する。	
		錆止め	材 料	塗料の規格、商標等を撮影する。（工場、現場毎）
	施工状況		工程毎の施工状況及び使用した数量がわかるように撮影する。（工場、現場毎） 現場でのタッチアップと2回目塗装の判別が出来るように撮影する。	
	アンカーボルト		材 料 長さ、径を種別毎に撮影する。 セット状況 ねじ山の保護及びセット状況を撮影する。	
	柱底ならし	施工状況	無収縮モルタルの材料・配合を撮影する。 ねじ山の出、二重ナット、座金等の取付状況を撮影する。 無収縮モルタルの柱底ならし（寸法・厚）の状況を撮影する。	
	鉄骨建方	搬入状況	現場での仮置きと養生の状態を撮影する。	
		建方状況	建方の機械を撮影する。 建方及び計測の状況を撮影する。 建方は段階及び全体の状況が解るように撮影する。	
		現場溶接	現場溶接する箇所の開先形状を撮影する。 溶接棒・溶接機の規格（電流・電圧）を撮影する。 溶接の状況を撮影する。	
		建方完了	全景を撮影する。	
	高力ボルト	材 料	規格、商標等が解るように撮影する。 締付機器を撮影する。	
		施工状況	錆の状況、摩擦面の処理を撮影する。 予備締め、本締め、締付トルク値、マーキングの状況を撮影する。	
	コンクリート埋込	埋込部分の状況	鉄骨・鉄筋の埋込部の組立状況を撮影する。	
	溶接部等試験	超音波探傷試験・抜取引張試験	機材及び試験状況及び監督員又は関係職員の立会の状況を撮影する。	
	耐火被覆	材 料	規格・認定番号等が解るように撮影する。	
		吹付け状況	工法（湿式・半乾式）と耐火性能（時間）が解るように撮影する。	
		こて押さえ	押さえ回数が解るように撮影する。	
		試料採取	かさ比重資料採取の状況を撮影する。	
		引張試験	耐火性能別に撮影する。	
		厚さ測定	厚さ確認ピンは厚さ別に色変えしてスケールとともに撮影し、確認ピンを差し込んだ測定状況を撮影する。	
		完了状況	全景を撮影する。	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考			
8	ブロック及び パネ工 事	ブロック材料	寸法、規格、商標等を入れて撮影する。 屋外に保管の場合は、養生状況を撮影する。				
		遣り方	縦遣り方の状況を撮影する。				
		ブロック積	施工状況	モルタルの充填状況、配筋(壁端部は必須)及び継手の状況を撮影する。 鉄筋上下の溶接終了後、溶接長さと同隔を撮影する。 一日の積上げ高さが許容値内であることを示すため、一日の積上げ開始前と終了の高さが判読できるように撮影する。			
			完了状況	全景を撮影する。			
		まぐさ	施工状況	型枠、配筋の状況を撮影する。(鉄筋、コンクリート工事の要領による)			
	(2)パネル工 事	パネ (ALC・ 押出成形セ ト板等)	集積状況	屋外に保管の場合は、養生を撮影する。			
			パネ材料	寸法、規格、商標等を入れて撮影する。			
			副材料	目地・接着材、取付金物を撮影する。			
			パネ建込	取付金物の設置状況(間隔)を撮影する。 目地用鉄筋の設置状況を撮影する。 パネの建込は、取付金物との取付け状況が解るように撮影する。 建て入れの寸法測定状況を撮影する。 目地の施工状況を撮影する。			
				完了状況	全景を撮影する。		
9	断熱工 事	共 通	材 料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。 撮影する。			
			施工状況	柱・梁・壁・床版等の施工状況及び・規格・厚さを部位別の要求仕様と対比して撮影する。			
			防 湿 層	断熱材に併せて防湿層を施工する場合は、材料・重ね代・留め方法が解るように撮影する。			
			補修状況	穴や設備関係の取合部分等の補修状況を撮影する。			
			成形断熱材 (発泡プラスチック 保温材・繊維 系保温材)	施工状況	土間コンクリートの敷込みでは、敷込み前の床の状況も撮影する。 打ち込み工法では、型枠への取付状況及びノロ防止方法を撮影する。 コンクリート等への後張り工法では、接着面の処理と接着剤の塗布状況を撮影する。 外断熱工法の場合は、外装材・断熱材・躯体相互の取付状況が解るように撮影する。		
				現場発泡断熱材(吹付け硬質ウレタンフォーム)	施工状況	使用機器類と発泡前の養生を撮影する。 長さごとの色別計測ピンを撮影する。 発泡状況と発泡厚の計測状況を撮影する。	
				現場吹付け断熱材(繊維系保温材)	施工状況	使用機器類と吹付け前の養生を撮影する。 吹付け状況を撮影する。 吹付け厚(回数ごと)の計測を撮影する。	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考	
10 防水工事	共通	共 通	各層毎の施工状況を工程に従い何層の防水工事を施工したか判断出来るようにし、各工程ごとの完了全景を撮影する。 材料毎の継手重ね長さ、及び塗布状況を撮影する。		
		防水層下地	下地の仕上り状況、隅角部の丸面の状況を撮影する。 下地の乾燥状態（含水試験状況）を撮影する。 【見本例】 	7	
	(1)アスファルト防水	防水層	材 料	使用材料（プライマー・アスファルト・アスファルトフィング・断熱材等）の品種、規格、商標等を撮影する。	
			施工状況	プライマー塗を撮影する。 アスファルトの軟化点・溶融温度を撮影する。 アスファルトフィングの張付状況（下地打継面の処理・重ね代・層数・立ち上がり処理・開口廻り増張り・アスファルト塗り回数） 断熱材の敷込み状況を撮影する。	
		保護層 (防水層押さえ)	材 料	ポリエチレンフィルムの規格、商標等を入れて撮影する。	
			施工状況	重ね長さ等の施工状況を撮影する。 保護モルタルの施工状況、及び厚さを撮影する。	
		(伸縮目地)	材 料	寸法、規格、商標等を入れて撮影する。	
			施工状況	目地の施工状況(間隔・厚さ)を撮影する。	
		(押えコンクリート)	材 料	溶接金網の寸法、規格等を撮影する。	
			施工状況	溶接金網の取付及び重ね長さの状況を撮影する。 立上り部分の配筋状況及び押えコンクリートの打設状況を撮影する。 金ゴテ押えの工程の施工状況を撮影する。	
(2)合成高分子フィング防水	防水層	材 料	使用材料（シート・プライマー・接着剤等）の品種、規格、商標等を撮影する。		
		施工状況	プライマー塗を撮影する。 接着剤塗布を撮影する。 アスファルトフィングの張付状況（下地打継面の処理・重ね代・層数・立ち上がり処理・開口廻り増張り） 断熱材の敷込み状況を撮影する。		
(3)塗膜防水	防水層	材 料	使用材料（主材・プライマー・通気緩衝シート・補強布・接着剤等）の品種、規格、商標等を撮影する。		
		施工状況	採用の塗布工法とその施工順・内容が明確になるように撮影する。		
(4)シーリング	シーリング	材 料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。		
		施工状況	下地の処理、シーリング材の練り混ぜ、接着試験を撮影する。 プライマー塗布、バックアップ材設置、シーリング材充填の状況を撮影する。		

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
11 石工事		材 料	寸法、形状等を撮影する。	
		取付金物	鉄筋、緊結線、及び引き金物等の施工状況を撮影する。	
		取付状況	取付及び裏込モルタルの充填状況を撮影する。	
12 タイル工事	タイル張り	材 料	品種、規格、商標、寸法・形状（裏面含む）等を入れて撮影する。	
		施工状況	各工法の工程毎の施工状況の撮影で、特に下地モルタルの施工・タイル張付け施工・タイル引付け金物の施工・目地詰め の施工に留意する。	
		たたき検査	検査の状況を撮影する。	
		引張接着試験	試験機材、サンプル採取状況、試験状況及び監督員又は関係 職員の立会の状況を撮影する。（3個以上100㎡に1個）	
		完了状況	全景を撮影する。	
13 木工事	共通	材 料	規格、等級、寸法等を入れて撮影する。	
		含水率測定	測定の状況を撮影する。	
	防腐剤	防 腐 剤	規格、商標等を入れて撮影する。	
		防腐処理	塗布状況（コンクリート等の接着面を木材取付前に防腐剤を 塗布した状況）を撮影する。	
	建 方	軸組、小屋組、 床組	各工法の継手、仕口、組立て状況を撮影する。	
構造金物の取付 状況		かすがい及びホールダウン金物等金物取付完了後の状況を撮 影する。 【見本例】 		
				
				

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
		野タルキ及び野 地板の施工状況	乱継の状況、根太、野地タルキ等の間隔の状況を撮影する。	
		完了状況	全景を撮影する。	
	窓出入口枠	取付状況	防腐剤、補強金物、支持金物、飼いものパッキンの状況を撮影する。	
	壁下地組	施工状況	下地材の寸法及び間隔、釘打の状況を撮影する。	
		完了状況	全景を撮影する。	
14	屋根工事	金属板	材 料	材質、種別、規格、商標等を入れて撮影する。
	(1)長尺金属 板葺	防水層	施工状況	透過防湿シート、ルーフィングは重ね代が確認できるように撮影する。
		下 葺 き	施工状況	重ね長さ、留付状況を撮影する。
		完了状況	全景を撮影する。	
		葺 き 方	施工状況	吊り子の位置、とめ方、間隔、巻はぜ締付、軒先、棟修めの状況を撮影する。
		完了状況	全景を撮影する。	
	(2)折板葺	折 板	材 料	板厚、形状寸法、商標等を撮影する。 タイトルームの厚さ幅の寸法、商標を撮影する。
		施工状況	タイトルームの取付状況（溶接又はボルト締め） 折板の施工状況 面戸板の取付状況 ボルトの締付状況（ボルト間隔600mm以下）	
		完了状況	全景を撮影する。	
15	金属工事	金属製品	材 料	製品の形状、寸法等を撮影する。 裏面の防錆処理及び結露防止処理状況を撮影する。
		裏込モルタル	モルタルの充填状況を撮影する。	
		取付状況	取付アンカーの状況、間隔を撮影する。	
		完了状況	全景を撮影する。	
		軽量鉄骨 (天井・壁下 地)	材 料	寸法、規格等を撮影する。
		吊ボルト・野縁	野縁の間隔、吊ボルトの振止め補強の状況を撮影する。	
		間仕切壁	スタッドの間隔、振止めの状況を撮影する。	
		開口部	開口部の補強の状況を撮影する。	
		溶 接 部	錆止め塗布状況を撮影する。	
		完了状況	全景を撮影する。	
16	左官工事	共通	材 料	混和材、接着材等の使用材料の品種、規格、商標等を入れて撮影する。
		調 合	調合（容積比）の状況を撮影する。	
		下地処理	清掃、下地処理、水洗い等を撮影する。	
		補 修	ひび割れ箇所等の補修状況を撮影する。	
		養 生	施工後の養生状況を撮影する。	
		出来型確認	塗厚、水勾配の確認状況を撮影する。	
		完了状況	各工程ごとの完了全景を撮影する。	
	(珪藻土)	木下地の施工	ラス及びアスファルトフェルト張り等の状況を撮影する。	
		壁 塗	下塗り(目ぐしをかけ乾燥した状況)、中塗り(定規スリの状況)、上塗り(金ゴテ押えの状況)を撮影する。	
		床 塗	モルタルの圧送、モルタル塗込み、タッピング定規均し、金ゴテ押えの状況を撮影する。	
		均し珪藻土	塗回数と塗厚が解るように撮影する。	
		珪藻土充填	開口部廻りの充填状況及び無収縮セメントの使用状況を撮影する。	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考		
	(セムパリング材塗)	施工状況	セルフレベル機材搬入と施工状況を撮影する。 打継ぎ部の処理状況に注意して撮影する。			
		レベル試験	セルレベリングフロー試験を撮影する。			
	(仕上塗材仕上げ)	施工状況	仕上げ塗材の種類、仕上げの形状及び工法が明確になるように撮影する。 施工中の全工程が明確になるように撮影する。 吹付け工法の場合は、施工順の吹付け回数と吹付け量が明確になるように撮影する。			
17	建具工事	木製建具	材 料	樹種・品質・規格・商標・含水率等の検収状況(建具金物・塗料含む)を撮影する。 材料の保管状況を撮影する。		
			寸法測定	建具の必要寸法の計測状況を撮影する。		
			骨組み加工・組立	加工機械(能力)、治具を撮影する フラッシュ建具の骨組作成・組立の状況を撮影する。		
			塗 装	下地処理、塗回数・範囲が解るように撮影する。		
			取 付	取付状況を撮影する。 取付後の寸法計測状況を撮影する。		
	PVC建具	材 料	品質・規格・商標等の検収状況(建具金物含む)を撮影する。 材料の加工前の断面も撮影する。 材料の保管状況を撮影する。			
		寸法測定	建具の必要寸法の計測状況を撮影する。			
		骨組み加工・組立	フラッシュ建具の骨組作成・組立の状況を撮影する。			
		取 付	取付状況を撮影する。 取付後の寸法計測状況を撮影する。			
		金属建具 (アルミニウム・ステン レス・鋼製建具)	材 料	品質・規格・商標等の検収状況(建具金物・塗料含む)を撮影する。 材料の加工前の断面も撮影する。 材料の保管状況を撮影する。		
	制 作		フラッシュ建具の骨組作成・組立、断熱材充填等の状況を撮影する。			
	塗 装		下地処理、錆止め塗装、塗回数・範囲が解るように撮影する。			
	取 付		アンカーの間隔、溶接等の状況を撮影する。 枠廻り部材の施工状況を撮影する。 建具取付状況を撮影する。			
	ガラス工事		材 料	品質・規格・商標等の検収状況を撮影する。 ガラス留め材(シーリング材・ガスケット・バックアップ材)を撮影する。		
		取 付	取付状況を撮影する。 ペアガラス等で、工場の建具制作時に組込みの場合でも撮影すること。			
	18	塗装工事	共 通	材 料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	
				数 量	入荷数量と残量を撮影する。	
下地処理				清掃、下地処理(下地の違いごとの下地処理の状況、素地ごしらの塗り回数が解るように)、養生を撮影する。		
完了状況				全景を撮影する。		
塗り工法			施工状況	ローラー塗り及びはけ塗りの施工状況を撮影する。 各塗装の種類による各工程毎の施工状況(塗り回数が解るように)を撮影する。		
吹付け工法			施工状況	吹付けの施工状況(器具含む)を撮影する。 各塗装の種類による各工程毎の施工状況(塗り回数が解るように)を撮影する。		

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考	
		完了状況	全景を撮影する。		
19 内装工事	共通	材 料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。 接着剤、留め器具を撮影する。		
		完了状況	全景を撮影する。		
	(1)合成樹脂製床	シート張り	施工状況	下地の処理(乾燥状況)を撮影する。 仮敷き状況を全体が解るように撮影する。 接着剤の塗布状況を撮影する。 張付状況を撮影する。 溶接の場合は、溶接器・溶接温度が解るようにし、溶接後のカット状況も撮影する。 ワックス塗布などの表面仕上げの状況を撮影する。	
		タイル張り	施工状況	下地の処理(乾燥状況)を撮影する。 張付状況を撮影する。 ワックス塗布などの表面仕上げの状況を撮影する。	
		合成樹脂塗床	施工状況	プライマー塗、下地の処理(調整・素地ごしらえ)状況を撮影する。 剤の練り混ぜ状況を撮影する。 各塗工法の種類による各工程毎の施工状況(塗り回数が解るように)を撮影する。	
	(2)フローリング床張り	釘留め工法	施工状況	隠し釘及び接着剤の塗布を撮影する。 下張りがある場合は、上張りとの継ぎ手位置が同じでないことを確認できるように撮影する。	
		接着工法	施工状況	接着剤の練り混ぜ状況を撮影する。 接着剤の塗布、張り状況を撮影する。	
	(3)壁(天井)ボード張り	張り工法(下地組)	施工状況	中間・端部のビス間隔(下張り含む)を撮影する。 下張りがある場合は、上張りとの継ぎ手位置が同じでないことを確認できるように撮影する。 上張りが接着工法の場合は、接着剤の塗布状況(間隔等)を撮影する。 目透しの場合は、目透し材、間隔を撮影する。 遮音性能が要求されている場合は、遮音材の施工状況と遮音壁の断面・仕様が解るように撮影する。	
		直張り	施工状況	張付用接着剤の塗布状況(間隔等)を撮影する。 ボードの継目処理状況を撮影する。	
	(4)壁(天井)壁紙・クロス張り	張り工法(下地組)	下地処理	清掃、パテ処理、養生を撮影する。	
施工状況			接着剤の塗布、張り状況を撮影する。 張り方向・張り順に注意して撮影する。		
(5)壁(天井)吸音材張り		施工状況	ピンの材質・間隔が解るように撮影する。		
20 ユニット工事	黒板・家具・サイン等の製品	施工状況	骨組の組立及び取付状況を撮影する。		
21 舗装工事	アスファルト舗装	路床	転圧の段階ごとに撮影する。		
		路盤	試掘測定は路盤転圧確認後に撮影する。		
		プライムコート			
		タックコート			
		出来形	表層・基層の転圧が確認できるように撮影する。 コアは採取の状況も撮影する。		
22 排水工事		材 料	寸法、品種、規格等を入れて撮影する。		
		施工状況	管の据付けは勾配・高さが解るように撮影する。 舁類は、基礎の状態・深さ・接続面の処理が解るように撮影する。		
		出来形			

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考
23 植栽工事		高木類	植穴形状・根巻き形状の計測は種類ごとに撮影する。	
		中木類	種類又は植群ごとに植込みの施工状況を撮影する。	
		株物・芝類	植込み・貼付の施工状況を撮影する。	
		客土	植群ごとの施工状況を撮影する。	
		土質改良	//	
		施肥	//	
24 擁壁・塀工事		施工状況	裏込は、材料・厚さを撮影する。 基礎から躯体寸法計測までの各工事は、鉄筋コンクリート工事に準じて撮影する。	
		出来形	各工事段階での撮影は、擁壁断面の異なるごとに行う。	
25 屋外付帯作 工物工事	防球柵・支柱 基礎類、砂場 ほかの外構付 帯構造物類	施工状況	深さ・基礎の状態を撮影する。 必要に応じて、他の工事の撮影上の注意事項を参照する。	
		出来形		
26 雑工事	(1)砂利敷	施工状況	床づけ、締固めの状況を撮影する。	
		完了状況	幅及び厚さの状況を撮影する。	
	(2)縁石・境 界石	材 料	寸法、品種、規格等を入れて撮影する。	
		施工状況	切込砂利、コンクリート等の寸法及び縁石の取付状況を撮影する。	
		完了状況	全景を撮影する。	

撮影基準
別表(3) 電気設備工事

工 種	項 目	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考	
1 共通工事 (1)配管工事	機材	電線管その他 配管材料	JISマークを中心に管径、管種などを確認できるように撮影する。 (規格等見えるよう接写) 黒板に種類、管径等を記入する。		
		防水鉄管 防水スリーブ	黒板に略図、寸法等を記入しリボンテープを添えて撮影する。		
		カップ リング コネクタ	JISマークのついた製品ラベル等を添えて撮影する。		
		ジャンクションボックス アットレット ボックス類	JISマーク、部品の構成が確認できるようにスケールを添えて撮影する。		
		アットレットボックス 加工状況	ボンド線の施工状況が確認できるよう拡大して撮影する。		
		アンカーボルト	寸法施工状況が確認できるよう撮影する。		
		プルボックス	内部仕上げ、接地端子、寸法が確認できるように撮影する。		
		プルボックス の加工状況	加工状況を撮影する。		
	施工状況 (打込配管・ ダクト・ボ ックス)	スリー プ等	スリー プ等	型枠施工前に取付状況、補強状況、位置寸法、外径等確認できるよ う撮影する。 打設後の補修状況を撮影する。	
			配管	コンクリート打設前の床スラブ、柱型立上り配管等の布設状況を撮影 する。 (リボンテープ等を使い結束の支持間隔の状況を撮影)	
		ボックス等	ボックス等	動力制御盤、分電盤及び端子盤への配管立上り状況、管立上り部分の 支持方法、管端の養生等が確認できるように撮影する。	
			ボックス等	打込されるボックスとボンディング状況を撮影する。 外壁等断熱を要する部分のボックスについて断熱処理状況を撮影す る。 鉄筋、型枠への固定方法、ボックスの寸法位置が確認できるように撮 影する。 型枠取外し後のボックスの状況、清掃状況を撮影する。	
		盤類仮枠	埋込型盤の仮枠の取付及び配管状況を撮影する。 仮枠撤去後の状況が確認できるよう撮影する。		
		盤類基礎	自立盤のコンクリート基礎は、打設前の型枠、打設後の型枠取外し補 修施工後の状況を撮影する。		
		その他	型枠解体後の各部分についてモルタル及びシール材での補修状況を撮 影する。		
		インサート	インサートの設置状況、断熱処理の状況を撮影する。		
		アンカーボルト等	鉄筋への結束状況を撮影する。		
施工状況 (いんべい及び露 出配管・ボッ クス 等)	配管・ボ ックス類 ブルボ ックス 幹線用 配管 幹線用 ケーブルラ ック 躯体穴 開け等の 施工 分電盤・ 端子盤・ 制御盤 の据付	配管・ボ ックス類	造管材への固定方法、納まり、塗装の工程、ボックスの寸法、位置寸 法が確認できるように撮影する。		
		ブルボ ックス	内部の仕上げ、接地端子、寸法が確認できるようにリボンテープ等を 添えて撮影する。		
		幹線用 配管	ブルボックスを含む、ボンディングの状況及び、配管、支持間隔の状 況を撮影する。		
		幹線用 ケーブルラ ック	支持間隔の状況、納まり、布設の状況を撮影する。		
		躯体穴 開け等の 施工	研り箇所、穴明作業状態を撮影する。		
		分電盤・ 端子盤・ 制御盤 の据付	盤函体の取付及び管端処理とボンディングの状況が確認できるよう撮 影する。 モルタル補修状況を撮影する。(函体の取付前、床、壁等から、アン カーボルトの突出した状況)		

工種	項目	撮影対象	要領及び注意事項	備考	
(2)配線工事	清掃	配管・ボックス類	打込配管等、配管内清掃の必要のあるものは、清掃状況を撮影する。 打込ボックス等清掃の必要のあるものは清掃終了状況を撮影する。		
	エキスパンションジョイント		エキスパンション部分の耐震施工状況を撮影する。		
	機材	電線・ケーブル	JISマーク、その他規格が確認できるよう撮影する。		
		防火区画・貫通材料	組立て材料が確認できるよう撮影する。		
	施工状況	配線	通線作業状況を撮影する。 ケーブルの場合は布設状況、結束状況を撮影する。 プルボックス内、ケーブルラック上の電線及びケーブルの線名札の取付状況を撮影する。		
		接続	接続部については、接続工程、接続完了状況を撮影する。 耐熱電線、耐火ケーブル等工法の指定のある場合はその工程について撮影する。		
防火区画等の貫通部		貫通部不燃材の充填状況を撮影する。 評定済工法による施工の場合はその工程と処理状況及び認定シール等を撮影する。 不燃材による配管の場合は、配管の突出寸法が確認できるよう撮影する。			
支持	いんぺい配線の支持状況が確認できるように撮影する。				
2 機材・器具取付工事 (1)配線器具	機材	配線器具	品種・規格等が確認できるよう撮影する。		
		施工状況	器具と電線の接続状況（作業状況）を撮影する。プレート取付前の各室壁面を撮影する。		
		試験	各種	絶縁抵抗測定、コンセント極性試験の状況を撮影する。	
	(2)照明器具	機材	照明器具	品種・規格等が確認できるよう撮影する。	
			施工状況	天井ボード施工前に吊ボルトと位置ボックスの状況を撮影する。 器具取付、吊りボルト固定、配線接続状況及び器具の接地配線の確認ができるよう撮影する。（天井の区体から吊ボルトの突出した状況） 天井内の配線接続状況、吊り固定状況、配線の整理状況等を撮影する。	
					
					
		直付吊下器具	天井造営材から吊ボルトの突出した状態を撮影する。 器具取付、吊りボルト固定、配線接続状況及び器具の接地配線の確認ができるよう撮影する。		
		電動昇降装置 高天井用 照明器具	装置の取付方法、取付金物の状況、落下防止措置の状況を撮影する。		
	試験	各種	絶縁抵抗測定、照度測定等の状況を撮影する。		
(3)外灯	機材	ポール・灯具・安定器・ランプ	規格・寸法等が確認できるよう撮影する。		
		施工状況	ポール基礎	堀削、型枠、コンクリート打設、型枠取外し、各状況を撮影する。 埋め戻し前、埋め戻し後の状況を撮影する。（箱尺やリボンテープを使用し、埋設の深さ等、基礎寸法が確認できるよう撮影する）	
		ポール	ポール内の安定器、保安措置の取付及び結線状況を撮影する。 ポールの塗装状況を撮影する。（塗装回数がわかるよう各回ごと撮影する）		

工 種	項 目	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	備 考		
3	(4)分電盤 端子盤 制御盤 実験盤 開閉器箱 OA盤等	試験	各種	絶縁抵抗測定、接地抵抗測定等の状況を撮影する。		
		機材	工場製作過程の撮影	規格・寸法等が確認できるよう撮影する。 素地調整状況及び塗装状況を確認できるよう撮影する。		
			工場検査	工場検査状況を撮影する。 外観構造確認、絶縁測定、シーケンス試験等 盤の仕様や材質が良くわかるように撮影する。 		
		施工状況		埋込ボックスへの内部機器の取付状況を撮影する。 配線整端状況、端子への接続状況を撮影する。 端子増し締め状況を撮影する。 線名札取付状況を撮影する。 分電盤の電線接続端子の増締めや線名札の取付状況等を撮影する。 		
		試験	各種	機能試験、絶縁抵抗測定等の状況を撮影する。		
		機材	施工状況	各種設備共通	規格・寸法等が確認できるよう撮影する。	
				交換機・HUB等・放送架	据付け状況を撮影する。	
				アンテナ	取付状況・アンカーボルトの施工状況を撮影する。	
				スピーカー	配線の接続状況が確認できるように撮影する。 天井スピーカーの配線が正しく接続された状況(PE線、一般非常系統色分け等)を撮影する。 	
				感知器	感知器への配線状況、感知器の種別が確認できるよう撮影する。	
配線器具	品種、規格が確認できるよう撮影する。 器具とケーブルの接続状況（作業状況）を撮影する。 プレート取付前の各室壁面を撮影する。					
試験	各種	機能試験等の状況を撮影する。				
機材	(1)キュービクル式	工場製作過程の撮影	規格・寸法等が確認できるよう撮影する。 素地調整状況及び塗装状況を確認できるよう撮影する。			
		工場検査	工場検査状況を撮影する。 外観構造確認、絶縁測定、耐電圧試験、シーケンス試験等			

工種	項目	撮影対象	要領及び注意事項	備考
	施工状況	基礎	<p>基礎コンクリート打設前、打設後及び埋戻し前、埋戻後の状況を撮影する。 基礎の配管及びアンカーボルトの固定と補強の状況を撮影する。（基礎の配筋状況及び打設後の床からアンカボルトの突出した状況）</p> <p>基礎コンクリート打設前、打設中、打設後の状況を撮影する。（型枠、配筋、打設型枠取り外し後の状況）</p> <p>例）アンカーボルトの耐震施工状況を撮影する。</p> 	
		搬入・据付	<p>機器の搬入状況を撮影する。 高圧ケーブルの立ち上がり部分及び端末処理方法の状況を撮影する。</p> <p>例）高圧ケーブルの収まりや盤開口部の処理等を撮影する。</p>  <p>低圧ケーブルの送り出し部分、ブレーカー等への接続状況及び配線支持状態を撮影する。 各端子の増締め状況を撮影する。 据付完了状況を撮影する。</p>	
(2)開放式	機材		規格・寸法等が確認できるよう撮影する。	
	施工状況		<p>組立中のフレームパイプ、各機器の取付状況、寸法を撮影する。</p> <p>き電盤、配電盤の組み付け状況を撮影する。盤からの立上がり幹線配管、配線、盤裏面の結線状況を撮影する。</p> <p>トランス、進相コンデンサ等床面に据付ける機器の据付状況を撮影する。 高圧ケーブルの端末処理状況、固定状況を撮影する。</p> <p>据付完了状況を撮影する。</p>	
	試験	現場測定	<p>各種試験の状況を撮影する。</p> <p>耐圧試験や保護協調設定の状況を撮影する。</p> 	
4	発電設備工事 (発電機本体及び補機類)	機材	工場製作過程の撮影	規格・寸法等が確認できるよう撮影する。 素地調整状況及び塗装状況を確認できるよう撮影する。
			工場検査	工場検査状況を撮影する。 外観、構造、寸法の確認、絶縁抵抗測定、耐電圧試験、負荷試験、シーケンス試験等
	施工状況	基礎	<p>基礎の配管及びアンカボルトの固定と補強の状況を撮影する。（ボルトの径を確認できるよう）</p> <p>基礎コンクリート、打設前、打設中、打設後の状況を撮影する。（型枠、配筋、打設型枠取り外し後の状況）</p>	

工種	項目	撮影対象	要領及び注意事項	備考
		搬入・組立・据付	<p>搬入状況を撮影する。 発電機の組立、据付及び各配管の接続、調整状況を撮影する。</p> <p>据付完了状況、配線接続状況を撮影する。 燃料槽 架台の固定状況、槽の据付、塗装状況を撮影する。</p> <p>防油堤の深さ、槽の据付寸法の確認ができるよう撮影する。</p> <p>給油給水配管 配管施工状況、可とう継手接続状況、配管塗装、配管圧力試験状況を撮影する。 入排気ダクト 接続状況、取付工程、断熱処理状況、外部貫通部処理状況、伸縮継手施工状況を撮影する。 消音器 取付状況、断熱処理状況、外部貫通部水切処理状況を撮影する。</p>	
	試験	現場測定	<p>各種試験運転、測定状況を撮影する。</p> <p>例) 負荷が切り替わって動作確認を実施している状況を撮影</p> 	
5	接地工事	機材	接地極	規格・寸法等が確認できるよう撮影する。
		施工状況	接地極	<p>堀削寸法をリボンテープを入れ撮影する。 黒板に凍結深度を記入する。 銅板と接地線のろう付け状況、埋設深度の確認ができるよう撮影する。 接地棒は打込み状況を撮影する。 接地線の埋設状況を撮影する。 接地抵抗測定状況を撮影する。 測定値を黒板に記入する</p>
			接地極埋設標	寸法、敷設状況がわかるよう撮影する。
6	地中配線工事	機材	ハットホル・マンホール	規格・寸法等が確認できるよう撮影する。
		施工状況	現場打ちハットホル・マンホール	<p>堀削寸法、基礎砂利の転圧後厚さの確認ができるよう、黒板に略図寸法を記入しリボンテープなどを添えて撮影する。</p> <p>捨コンクリート打設状況、底板のすみ出し状況を撮影する。</p> <p>配筋、型枠施工状況を黒板に鉄筋径、ピッチを記入し、リボンテープを添えて撮影する。 貫通部補強、防水処理状況を撮影する。鉄蓋枠取付状況を蓋の径が確認できるよう撮影する。 打設後型枠取外し状況、出来上がり寸法が確認できるよう撮影する。</p> <p>埋め戻し、周囲の転圧状況が確認できるよう撮影する。 黒板に設置位置を記入する。</p>
			組立式ハットホル・マンホール	<p>組立状況の確認ができるよう撮影する。 堀削、底板、埋戻しは現場打ちに準ずる。</p>
		施工状況 (地中管路)	掘削・布設	<p>堀削寸法、GLからの深さが確認できるよう箱尺、ばか棒などを用いて撮影する。 黒板に掘削寸法等の略図を記入する。 管路布設状況、底砂等施工状況を撮影する。</p>
			埋戻し	<p>転圧(300mmごと)状況埋設シート布設状況を撮影する。</p> <p>埋設シートの記入事項が確認できるよう撮影する。 埋め戻し完了後の全景を撮影する。</p>

工種	項目	撮影対象	要領及び注意事項	備考
		地中ケーブル	<p>掘削、埋戻し、埋設シート（物件名、管理者名、電圧を表示する）等は地中管路に準ずるほか、掘削後ケーブル布設状況を撮影する。</p> <p>埋戻し前の埋設深度、離隔距離収まり等がわかるように撮影する。</p> <p>ケーブル敷設状況</p> 	
		配線	<p>管路の場合通線状況を撮影する。</p> <p>マニール・ハンドホル内の表示（線名札等）、架台の取付け、電線の余長が確認できるように撮影する。</p>	
		埋設標	<p>寸法、施設状況がわかるよう撮影する。</p>	
7 架空配線工事	機材	電柱等・区分閉器・避雷器・PCS	<p>規格、容量等が確認できるよう撮影する。</p> <p>電柱、腕金、底板は寸法等が確認できるようリボンテープなどを添えて撮影する。</p>	
		施工状況	<p>掘削状況を撮影する。</p> <p>根入れ深さが確認できるよう撮影し黒板に使用電柱の規格を記入する。</p> <p>腕金、碍子の取付状況を撮影する。</p> <p>設置位置確認（敷地内） 建柱（根入、底板、根か）</p> 	
		区分閉器・避雷器・PCS	<p>取付け、接地工事状況を撮影する。</p>	
		配線	<p>張架状況、引留状況を撮影する。</p> <p>ケーブルの端末処理状況を撮影する。</p>	
8 電熱設備工事	機材	ロードヒーティング	<p>規格、容量等が確認できるよう撮影する。</p>	
	施工状況		<p>発熱線の布設前にヒーティング施工箇所の全景を撮影する。</p> <p>発熱線の布設状況をリボンテープ等を添えて撮影する。</p> <p>押えコンクリート、タイル等の施工状況を撮影する。</p> <p>発熱線と接続電線との接続状況、温度検出器、水分検出器の施工状況を撮影する。制御盤の結線状況を撮影する。</p>	
9 雷保護設備工事	機材	避雷針・棟上導体・避雷導線・接地極	<p>規格・寸法等が確認できるよう撮影する。</p>	
		施工状況	<p>避雷針</p> <p>支持金物取付用アンカーボルトの施工状況、支持金物取付状況及び突針と導線の接続状況を撮影する。</p>	
		棟上導体	<p>導体の布設状況、伸縮部分の施工状況、銅帯接続部の施工状況を撮影する。</p> <p>アルミ導体の場合は継手の状況を撮影する。</p>	
		避雷導線	<p>導線の支持状況を撮影する。</p> <p>躯体鉄骨等を導線の代替とする場合は接続状況を撮影する。</p>	
		接地極	<p>「接地」項参照</p>	

工 種	項 目	撮影対象	要領及び注意事項	備 考	
1	共通工事	スリーブ・インサート工事	材 料	外形、寸法、種類（つば付、紙、鉄板、木枠等）を整理し撮影する。	
			施工状況	取付状況、取付位置、配筋補強状況、貫通部処理状況を撮影する。	
			① 		追加
			② 		
				①地中梁スリーブ→スリーブ間隔及び位置について基準がありま すのでスケールを入れて撮影する。 ②梁スリーブ→スリーブ間隔にスケールを入れて撮影する。	
			施工状況	下記配管の加工状況及び接続状況を撮影する。 鋼管：ネジ切り、リーマ掛、溶接状況、支持金物取付状況、接合材、ネジ部の防錆処理を撮影する。 塩ビライニング鋼管等：切断状況、その他鋼管に準ずる。 銅管：接合状況、支持、振れ止め状況を撮影する。 鋳鉄管：ボルト締めつけ状況、支持金物取付状況を撮影する。 鉛管：加工状況、接続状況、支持金物取付状況を撮影する。 スチール鋼管：接続状況、溶接状況、支持金物取付状況を撮影する。 ビニル管：接合状況、屋外の場合埋設状況を撮影する。 ヒューム管：接合状況、埋設状況を撮影する。 架橋ポリレン管、ポリブテン管：切断状況、接合状況を撮影する。	
			洩えい試験	試験状況、圧力計の目盛り、開始時間及び終了時間が確認できるように撮影する。	
		土工事	浄化槽 地下タンク等	掘削、埋戻しの施工状況は建築工事に準ずる。	
			埋設管等	施行前状況、根伐位置を撮影する。 根伐深さ、根伐幅をスケールにて設計GL、現況GL等が判るように撮影する。 管等布設状況、埋設位置を撮影する。 埋戻し、転圧状況を撮影する。 使用機器の仕様が判るように撮影する。	
			残土処分	建築工事に準ずる。	
コンクリート 工事	躯体工事	建築工事に準ずる。			
	機械基礎工事	基礎設置位置、配筋、アンカーボルト取付状況を寸法を明示し撮影する。 コンクリート打設状況を撮影する。			
塗装工事	材 料	建築工事に準ずる。			
保温・防露工 事	材 料	搬入時に梱包の状態で仕様・規格・表示マークを撮影する。			
	施工状況	系統ごとに作業工程を撮影する。 重ね幅、巻回数が判るように撮影する。 保温材の厚さ（スケールを当てる）を撮影する。			

工 種	項 目	撮影対象	要領及び注意事項	備 考
2	空気調和設 (1)ダクト 工事	防錆工事	材 料 搬入時、仕様・規格・表示マークを撮影する。	
		施工状況	防錆処理前の処理状況を撮影したのち、工程ごとに撮影する。 巻回数、重ね幅が判るように撮影する。	
		左官工事	材 料 建築工事に準ずる。	
		施工状況	建築工事に準ずる。	
		鋼材工事	材 料 建築工事に準ずる。	
		施工状況	溶接状況等を撮影する。	
	ダクト工事	材 料	搬入時、仕様・規格・評定マークを撮影する。	
			  <p>・防火区画の貫通に使用する、実管スリーブについては厚みも測定し写真を撮影する。</p>	追加
	施工状況	風道の振れ止め、補強、接続状況、多湿箇所に施工する排気ダクト等のシール状況ならびにダクトの系統、施工位置、寸法を明示し撮影する。 ダクト（亜鉛鉄板）の見え掛り部分の内面黒つや消し塗等を撮影する。		
			  <p>・防火区画貫通部のモルタル詰め及びロックウール充填状況</p>	追加
	ダクト付属品 (防雪フード・天蓋)	材 料	搬入時、仕様・規格・評定マークを撮影する。	

工 種	項 目	撮影対象	要領及び注意事項	備 考
		施工状況	ダンパー、吹出口、吸込口、ガラリ、フード、チャンバー等の施工位置、寸法、接続方法を明示し撮影する。 ダンパーの防火区画の処理、施工状況、固定状況を撮影する。	
(2)配管工事	冷温水・蒸気・給油配管	施工状況	一般共通事項に準ずる。 伸縮継手の支持状況、クランプ装置施工状況を撮影する。	
		給油集中システム検査	 <p>給油集中検針盤</p>  <p>各戸給油用レバー</p> <p>複数人による、レバーと集中検針盤の作動調査を全戸数行う</p>	1
(3)暖房設備	ボイラー・温水機	搬入状況	搬入、据付状況、更に据付工事作業主任者の必要なボイラーは作業主任者の作業状況を撮影する。	
		基礎の状況	寸法、アンカーボルトの取付状況を撮影する。	
		煙 導	寸法、径、板厚、断熱ラッキング、支持金物、伸縮部、固定金物、施工状況を撮影する。	
		付属機器	取付状況を撮影する。	
		水圧試験	試験状況、圧力計の目盛り、開始時間及び終了時間が確認できるように撮影する。	
(4)冷房設備	冷凍機	機 材	搬入時、形式、冷凍能力、構造、材質等明示し撮影する。	
		据付状況	基礎、アンカーボルト及び据付状況を撮影する。 付属機器、配管接続、弁の位置、防振材等の取付状況を撮影する。	
	冷却塔	機 材	搬入時、形式、材質、製造者名等明示し撮影する。	
		据付状況	基礎、位置、寸法、アンカーボルトの状況を撮影する。 据付、配管接続及び弁類取付状況を撮影する。	
	空気調和機	機 材	搬入時、形式、能力、材質、寸法、製造者名等明示し撮影する。	
		据付状況	基礎、位置、アンカーボルト、防振装置取付状況を撮影する。 ダクト及び配管との接続状況を撮影する。 機器内部の各仕様について撮影する。	
	空気清浄装置	機 材	搬入時、形式、能力、材質、寸法、製造者名等明示し撮影する。	
		据付状況		

工 種	項 目	撮影対象	要領及び注意事項	備 考	
(5)放熱器	鋳鉄製放熱器・コンパクター・ファンコンパクター・パネヒーター・ファンユニット	機 材	搬入時、形式、寸法、能力を明示し撮影する。		
		据付状況	固定状況、配管接続状況を撮影する。		
	(6)送風機		機 材	搬入時機種、呼び番号、風量、静圧、製造者名、材質を明示し撮影する。	
			据付状況	支持、固定の状況、ダクト、たわみ継手の接続、防振材の取付状況を撮影する。	
	(7)換気扇		機 材	搬入時、羽根径、風量、静圧、製造者名、表示マーク等を明示し撮影する。	
			据付状況	壁付の場合の木枠ビス等の固定状況が写るように撮影する。天井扇の吊り金物の状況を撮影する。ダクト接続の状況を撮影する。	
	(8)ポンプ	空調・ボイラ給水・真空給水・給油ポンプ	機 材	搬入時、口径、流量、揚程、材質、電源の種類、製造者名等を明示し撮影する。	
			据付状況	基礎、据付、配管接続、防振材取付及び付属機器取付状況を撮影する。	
	(9)タンク・ヘッダー	還水タンク	機 材	形状、寸法、板厚、有効容量等を明示し撮影する。	
			据付状況	基礎の状況、据付、配管接続状況、塗装状況を撮影する。	
		熱交換器・貯湯タンク	機 材	形式、能力、材質、温度、圧力、保温、寸法、槽内部を撮影する。	
			据付状況	基礎の状況、配管接続状況、パッキンの状況、付属機器取付状況、保温、ラッキングの状況を撮影する。	
		膨張タンク	機 材	容量、材質、接続口径、寸法、有効水量を明示し撮影する。	
			据付状況	取付、配管接続状況を撮影する。	
オイルタンク		機 材	容量、板厚、寸法を明示し撮影する。		
		据付状況	地下埋設タンクの場合は土工事、矢板等土留、基礎コンクリート、配筋、コンクリート打設、タンク据付、防錆及び消防検査の状況を撮影する。更に上部スラブの施工、配管及び付属機器の取付状況を撮影する。		
オイルサービスタック		機 材	容量、板厚、寸法を明示し撮影する。		
		据付状況	基礎、配管接続、固定及び塗装の状況を撮影する。		
ヘッダー		機 材	寸法、接続口径等を明示し撮影する。		
		据付状況	基礎、配管接続及び弁類との接続状況を撮影する。保温、ラッキングの寸法を明示し撮影する。		
製作過程の撮影		製缶類	機 材	製缶類は、使用鋼材の品質、板厚及び製作過程、完成品内部を工場撮影する。関係法令対象品は、ボイラー又は第一種圧力容器製造許可工場であることを表示を撮影する。	
			据付状況		
(10)自動制御設備	機 器	機 材	搬入時、規格、寸法、製造者名等を明示し撮影する。		
		据付状況	各配管、ダクト、他機器への取付、固定状況を撮影する。制御盤等は盤表面のほか扉を開いた状態で撮影する。配管・配線は電気設備工事に準ずる。		
3 衛生設備	(1)屋外給水	配 管	材 料	規格、寸法、製造者名、特に継手、シール材、補修材、防食材等補助材の規格を撮影する。	
		施工状況	加工、接合部、配管保護、貫通部補修、水圧試験等の状況及び埋設深さを明示して撮影する。使用機器、土留がある場合には、土留材、打込機器を明示し撮影する。		
	(2)屋内給水	配 管	材 料	規格、寸法、製造者名、特に継手、シール材、補修材、防食材、吊棒等補助材の規格を撮影する。	
			施工状況	加工、吊込み、支持固定、接合部、保温前・完了状況、スリーブ穴埋め状況、水圧試験、配管洗浄状況を撮影する。	

工 種	項 目	撮影対象	要領及び注意事項	備 考	
	水 槽	施工状況	組立状況、清掃前清掃状況、清掃後ならびに使用薬品、耐振アンカーの取付（打込）寸法と取付状況を撮影する。 配管取出部の施工状況、接続状況を撮影する。		
	機 器	施工状況	搬入・設置状況、配管接続状況を撮影する。		
	(3)屋外排水	配 管	材 料	接続材等副資材を撮影する。	
			施工状況	ヒューム管等の本数（管にNo.）、接続状況、滑材等使用状況を撮影する。 継手部分ごとのレベル（基準点からの明示）、継手部支持がある場合は資材寸法及び作業状況を撮影する。	
		排水桝	施工状況	径、深さ、仕上高（基準点からの明示）、各桝の施工順序を撮影する。 配管、桝に番号を入れて撮影する。 インバート作業状況、接続等の作業状況（止水、モルタル等）を撮影する。	
	(4)屋内排水 （通気含）	配 管	材 料	継手、ボルト、補修材等副資材・補助材を撮影する。	
			施工状況	補修材塗布状況、接続状況、スリーブ穴埋状況を撮影する。 吊込、レベル確認状況を撮影する。	
		試 験	満水試験状況を撮影する。		
	(5)衛生器具	衛生器具	施工状況	通気金具、排水金具の防水処理及び取付状況を撮影する。	
			施工状況	据付、床レベル及び配管接続状況、他との取り合いを撮影する。 取付箇所の補強状況を撮影する。	
(6)給湯	配 管	材 料	屋内給水に準ずる。		
		施工状況	屋内給水に準ずる。		
	機 器	施工状況	湯沸器等の接続、固定状況、貯湯槽・熱交換器の接続、固定状況を撮影する。 伸縮継手、取付状況を撮影する。		
(7)ガス	配 管	材 料	防食材、吊金物（防食）を撮影する。		
		施工状況	防食現場施工部分の施工状況及び気密試験状況を撮影する。		
(8)消火	機 器	材 料	認定品マークを撮影する。		
(9)ガス漏れ警報	一 般		電気設備工事の当該事項による。 認定マークを撮影する。		
4	浄化槽	仮 設	現 況	施行前、位置出し状況、周辺状況を撮影する。	
			土 留	矢板等の寸法、形式、打込方法、打込機器、打込状況（打込材に1m毎に印をつける）を撮影する。	
			水 替	水替状況を撮影する。	
		一 般	建築工事当該事項による。特に振動時による周辺建築物の影響について検討し、必要に応じ周辺建築物の現況（外壁亀裂など）を撮影する。		
5	さく井	仮 設	現 況	施工前、位置出し状況、周辺状況を撮影する。	
		堀 削	機 器	使用機器、ヤグラ部材、ビット、ヤグラ組立状況、ヤグラ等機器組立完了全影を撮影する。	
			施工状況	堀削状況、止水状況、サンプリング状況を撮影する。	
		ケーシング・ストレーナ	完了	検尺状況、電気検層状況、仕上状況を撮影する。	
			機 材	ケーシング（孔径、数、長さ、番号）、スクリーン（巻線ピッチ、孔径、数、長さ）を撮影する。	
			挿 入	各管継手ごとの番号及び継手形状を撮影する。	
		玉砂利	資 材	粒径等の規格を撮影する。	
			充てん	深度、施工状況を撮影する。	
		ポンプ配管	機 材	ポンプ規格、揚水管（径、長さ）を撮影する。	
		試 験	機 材	測定器、装置全影を撮影する。	
施工状況	各段階ごとの状況（ノッチ高の明示）、試験水サンプリング状況を撮影する。				
6	昇降機	機 材	機 材	搬入状況、機器仕様、アンカー仕様を撮影する。	
			施工状況	据付、耐震措置、防火区画処理状況を撮影する。	
		試 験	機 材	試験用機器を撮影する。	
			施工状況	各項目（JIS検査基準参照）ごとの試験状況を撮影する。	

別表（５）－１ 建築工事完成写真撮影基準

区 分	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項
1 建築工事	建物外部	・建物外部4面及び屋上その他付帯施設一式
	建物内部	・主要各室は原則として室内全景を撮るものとし、極力1～3枚程度の写真で必要箇所の撮影が可能となるように、撮影方向・方法を工夫する。 ・主要各室で同一のもの(例えば学校の普通教室)が多数ある場合は、代表的な室を撮影する。
	舗装 排水 植栽 擁壁・塀 屋外付帯作工物 砂利敷 縁石・境界石	・全景または代表的部分の写真 ・極力、全景を見通せる位置で撮影し、2方向の写真で全体を撮ることが出来るように、撮影方向・撮影高さ等を工夫する。

別表（５）－２ 電気設備工事完成写真撮影基準

区 分	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項
1 共通事項	機材	・複数の機器（電灯、スピーカー、火災感知器等）が出来るだけ多く入るような床（地面）天井も含めて撮影する。 ・主要機器は設置場所、取付高さ及び取付状況等が判別できるよう適宜拡大（単独）撮影する。 ・撮影に際し機器類は、汚れ、傷、ドロ、土、砂、雪、木片、発生品等を除去し、完全に完成した状態で機器の外観を撮影する。（他業者の各工事が完全に完成した後に撮影すること）
2 電力設備工事	電灯	・特殊なもの（屋体、吹抜部の照明等）は別途撮影する。
	コンセント・スイッチ類	・単独に撮影することは避け、他の機器（インターホン、整合器等）を含めて撮影する。
	分電盤	・扉を閉じた状態で正面から盤名が見えるように床も含めて撮影する。
	外灯	・出来るだけ全景が見透せる場所を選定して器具の台数が分かるよう撮影し、遠方の器具が小さくて判別しがたい場所は反対の方向からも撮影する。それ以外は単独に撮影する。
3 受変電設備工事	高低圧配電盤、変圧器直流電源装置	・配電盤及び高圧盤等は全景が見透せる場所を選定して撮影し、変圧器、開閉器類及びその他の機器類も全景を撮影する。
	高低圧母線	・変圧器、その他機器類の撮影時に撮ったものでよい。
	閉鎖型受変電設備	・屋内外型を問わず閉鎖型の受電設備（キュービクル）は、別途基礎を含めた全景（正面、背面、側面）を撮影する。
	接地端子盤	・分電盤に準ずる。
4 発電設備工事	発電盤、附属機器類	・発電機、機関、消音器等全体を見透す位置から撮影する。 ・冷却水タンク、始動用空気タンク、コンプレッサー、蓄電池架、オイル・サービスタンク、給排気装置等を出来るだけ一括撮影する。
5 拡声・テレビ共聴・電話・火災報知設備工事	放送機器	・増幅器、遠隔操作器、視聴機器等は設置状況が分かるように撮影する。
	スピーカー	・天井付、壁付を問わず照明器具の撮影時に撮っていれば個々に撮ることを要しない。 ・屋内体育館等のメインスピーカー等は、別途撮影する。

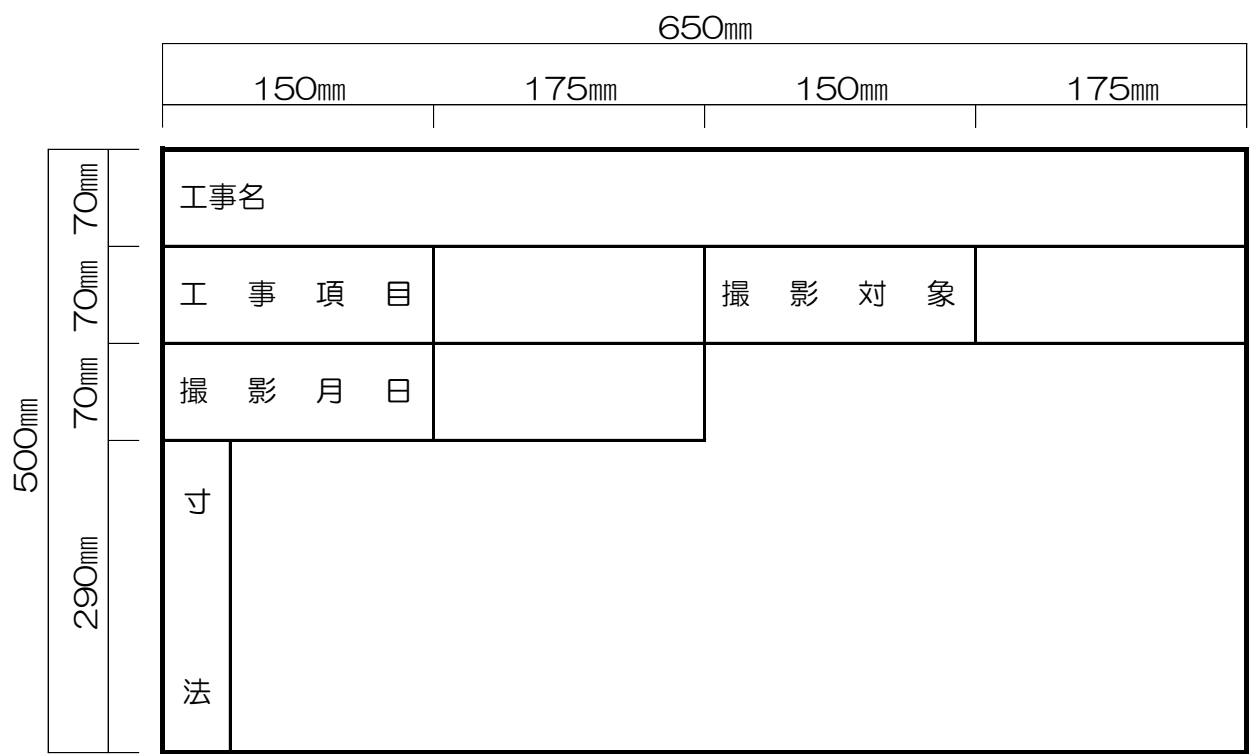
区 分	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	
	附属器等	・マイク、マイクスタンド、カメラ等の機器類は函から出して、識別できる状態で一括撮影する。	
	アンテナ	・アンテナ（TV,FM,AM）、支持金物、ブラケットを含め一括撮影する。	
	TV機器収容函	・分電盤に準ずる。	
	電話及びインターホン機器	・交換器、主装置、電池架、整流器等は全体を見透す位置から一括撮影し、必要に応じ個々に撮影する。 ・インターホン子材、電話器等は取付位置及び取付高さが大むね判別出来るよう撮影する。 ・端子盤類は分電盤に準ずる。	
	受信機、副受信機	・室全体を見透す位置から一括撮影する。又、受信機、副合盤等は、設置状況が分かるように、別途撮影する。	
	感知器	・照明器具、スピーカーと共用する。	
	総合盤、ホールドコイル	・総合盤は廊下など照明も含めて全体で一括撮影する。 ・ホールドコイルは工程写真に掲載する。	
6	雷保護設備工事	避雷突針、棟上導体	・突針、支持マスト、ブラケット等取付状況が判別出来るよう一括撮影し、被写体が小さすぎる場合は望遠レンズ等を使用して撮影する。 ・棟上導体は設置状態が判別出来るように撮影する。
		導線	・露出配線の場合は碍子を含めて壁面への取付状態が判別出来るように撮影する。
		試験端子盤	・分電盤に準ずる。
7	架空配線工事	引込柱及び構内柱	・引込柱は装柱品（気中開閉器等）を含め地上面から全体が入る位置を選択して撮影し、又、気中開閉器は別途撮影する。 ・構内柱は全電柱又は数本が見透せる場所を選定し、電柱の数量が判別出来るように撮影する。
8	地中線路工事	ハットホル、マソール、ケーブル埋設標	・蓋をした状態で上方又は斜め上方からケーブル埋設標を含めたものとし、数量が判別出来るよう撮影する。

別表（5）－3 機械設備工事完成写真撮影基準

区 分	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項	
1	共通事項	・複数の機器が出来るだけ多く入るような位置で床（又は地面）・天井・壁面も含めて撮影する。又、必要に応じて位置を変えて撮影する。 ・主要機器は設置場所、取付高さ及び取付状況等が判別出来るよう適宜拡大（単独）撮影する。 ・撮影に際し機器類は、汚れ、傷、ドロ、土、砂、雪、木片、発生品等を除去し、完全に完成した状態で機器の外観を撮影する。（他業者の各工事が完全に完成した後に撮影すること）	
2	ボイラー室設備	ボイラー及び付属品 真空ポンプ・還水槽 各種ポンプ・ヘッダー 煙道・媒煙濃度計	・ボイラー・真空ポンプ・還水槽は、全景が見通せる位置で撮影し、附属機器類、配管状況が判別できるようにする。 ・据付外観を明視できる位置で撮影する。

区 分	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項
3 暖房設備	放熱器	<ul style="list-style-type: none"> 各機ごとに据付外観、同一部屋の場合は数台一緒に撮影する。 他設備(換気設備等)が同じ面に入る場合はまとめて撮影する。
4 換気設備	換気扇・送排風機 吹出口・吸込口等 屋外フード、風除板	<ul style="list-style-type: none"> 各機種ごとに据付外観、同一部屋の場合はまとめて撮影する。
5 空気調和設備	空調機・ろ過器 冷凍機・冷却塔 各種ポンプ 吹出口・吸込口等	<ul style="list-style-type: none"> 全景が見通せる位置で撮影し、附属機器類・配管状況が判別できるように撮影する。
6 給油設備	地下埋設オイルタンク	<ul style="list-style-type: none"> 上部スラブ全景を撮影する。
	サービスタンク オイルポンプ 油面指示計・給油口	<ul style="list-style-type: none"> 全景を見通せる位置で撮影し、主要配管機器類の取付状況が判別できるように撮影する。
7 自動制御設備	自動制御装置 自動制御盤	<ul style="list-style-type: none"> 全景を見通せる位置で撮影し、各機器が判別できるように撮影する。
8 給水設備	受水槽・高架水槽 加圧装置・主要配管 薬注装置・量水器	<ul style="list-style-type: none"> 全景を見通せる位置で撮影し、附属機器類、配管状況が判別できるように撮影する。
9 排水設備	排水柵 ルーフトレン金物 通気金物・阻集器類 排水ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> 配置全景を見通せる位置で撮影し、排水柵は代表して蓋をした状態と内部を比較し撮影する。
10 給湯設備	給湯ボイラー 貯湯槽・熱交換器 循環ポンプ・膨張タンク 湯沸器	<ul style="list-style-type: none"> 全景を見通せる位置で撮影する。 附属機器、配管状況が判別できるように撮影する。
11 ガス設備	ガスメーター ガスカラン、保護BOX LPG集合装置	<ul style="list-style-type: none"> 全景を見通せる位置で撮影する。
12 ガス洩れ警報設備	ガス感知器・中継器 集中監視盤	<ul style="list-style-type: none"> 取付状態を明視できる位置で撮影する。 装置全体を見通せる位置で撮影する。
13 衛生器具設備	大便器・小便器 洗面器・掃除流し 附属金物類 鏡・各種水栓等	<ul style="list-style-type: none"> 取付状態を明視できる位置で撮影し、附属金物類と一緒に撮影する。
14 消火設備	ポンプ・加圧装置 屋内消火栓箱 屋外消火栓格納箱 その他主要機器	<ul style="list-style-type: none"> 全景を見通せる位置で撮影し、附属機器類、配管状況が判別できるように撮影する。
15 厨房設備	厨房器具類	<ul style="list-style-type: none"> 据付外観を明視できる位置で撮影する。
16 さく井	ポンプピット 井戸蓋及び内部機器類	<ul style="list-style-type: none"> 全景を見通せる位置で撮影し、内部機器類が判別できるように撮影する。
17 浄化槽	ユニット型	<ul style="list-style-type: none"> 上部躯体全景・制御盤・フロアー等主要機器を明視できるように撮影する。
	現場施工型	<ul style="list-style-type: none"> 建物全景（2方向以上）及び主要機器、主要配管が明視できる位置で撮影する。
18 昇降機		<ul style="list-style-type: none"> 全景を見通せる位置で撮影し、各機器が判別できるように撮影する。

別図 小黑板作成要領
小黑板の寸法その他



小黑板記入項目及び記入例

- 工事名 ・ 「〇〇〇〇工事」
- 工事項目 ・ 「鉄筋工事（配筋検査）」
（撮影目的となる施工状況や検査等の内容を要約して記載）
- 撮影対象 ・ 「2階A通り梁(G21)」
（設計図書に表示された内容・形式で記載）
- 撮影年月日 ・ 「〇年〇月〇日」
- 寸法等 ・ 「設計400×800 主筋4-D25 あばら筋D10-200@」
（撮影対象の設計寸法等記載、但し、略図添付でも可）
- ・ 「でき形401×802」
（でき形に係る寸法等記載、但し、別途、出来形管理記録を整備する場合は省略可）
- ・ 「立会者：主任監督員〇〇〇〇」
（発注者側監理者（監理委託者含む）及び社内検査員が立ち会った場合に記載）

小黑板情報の電子的記入を行う場合

デジタル工事写真に小黑板情報の電子的記入を行う場合についても上記のフォーマットを基本とするが、使用するソフトウェアにおける対応が難しいなどの理由がある場合は、監督員と協議の上、レイアウトや縦横比の変更を行うことができることとする。ただし、記入項目の省略は不可とする。

デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事（以降、「対象工事」と称する）とすることができる。

対象工事では、以下の1. から4. の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、営繕工事記録写真撮影要領の別図小黑板作成要領に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。

なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」（URL

「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。

また、受注者は監督員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。なお、使用機器の事例として、URL

「<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>」記載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。

ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。

2. デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、1. の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。

小黑板情報の電子的記入を行う項目は、営繕工事記録写真撮影要領の別図小黑板作成要領による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、営繕工事写真撮影要領に準ずるが、2. に示す小黑板情報の電子的記入については、営繕工事記録写真編集基準3-7)で規定されている画像編集には該当しない。

4. 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、2. に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黑板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督員へ納品するものとする。

納品時に、受注者は URL（<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督員へ提出するものとする。

なお、提出された信憑性確認の結果を、監督員が確認することがある。

営繕工事記録写真編集基準

1 目的

この基準は、営繕工事記録写真撮影要領（以下、「撮影要領」という。）に基づく写真の整理・編集の方法を定め、請負者が撮影した工事の経過及び施工管理の状況等の写真を、より適切に記録することを目的とする。

2 対象写真

対象となる写真の撮影項目、撮影箇所及び撮影時期等は、営繕工事記録写真撮影要領の別表(1)～(5)による。

3 編集方式

デジタルカメラで撮影した電子データの編集は、原則として、次により編集する。

ただし、特記仕様書に指定がある場合、又は、別途、監督員から指示がある場合はこれによる。

1) (ソフトウェア)

デジタル写真の電子ファイル形式は、Joint Photographic Experts Group（以下、「JPEG」）とする。

また、JPEGのファイル名には、必ずJPGの拡張子をつけるものとする。

2) (CD-R等のフォーマット形式)

撮影要領5-2)で規定した、データを記録した記録媒体（CD-R等）のフォーマット形式は、Windowsオペレーティングシステムで動作する形式とする。

3) (写真名称)

a 各JPEGファイルには、写真内容に対応させた名称を付すこと。

b 電子納品における写真ファイルの命名規則は次のとおりとする。

① ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。

② ファイル名は「Pnnnnnn.JPG」（nは算用数字で番号）

4) (電子フォルダ編集方法)

工事記録写真の原本の編集は、電子フォルダによる整理編集を原則とし、別紙の「営繕工事デジタル写真フォルダの編集」の例を参考に整理する。

なお、提出された電子媒体アルバムから直接原本をJPEG形式でコピーすることができる場合は、任意のフォルダ構成とする。

5) (デジタル写真整理一覧表)

a 工事記録写真フォルダの大分類には、別紙の「デジタル写真整理一覧表」を参考にして、エクセル表で工事写真一覧表を作成する。

b 工事写真一覧表の小分類ファイル（エクセルウインドウ）は、電子フォルダ分類の小分類ファイルとエクセルリンクさせ、工事写真一覧表からの検索で小分類ファイルの画像を展開できるようにすることが望ましい。

6) (説明図等の編集)

a 撮影状況の説明のために、撮影位置図、平面図、構造図等の説明文・説明図を必要とする場合は、テキストファイル又はビットマップなどに編集する。

説明図のサイズ写真データのノルターに、写真ファイルと同一名称ノファイル(拡張子はJPEG又はTIF)で保存する。

電子納品における説明図ファイルの命名規則は次のとおりとする。

① ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。

② ファイル名は「Dnnnnnn.JPG」又は「Dnnnnnn.TIF」（nは算用数字で写真ファイルと同番号）

7) (画像修正の規制)

a 画像の信ぴょう性を考慮して画像編集は認めない。

b 撮影内容に誤り(黒板の語標記等)があった場合は、画像編集をせずに別途明記すること。

c 写真編集ソフトを利用して閲覧した場合、「上書き保存」、「名前を付けて保存」の処理をすると、編集を行っていないか、編集を行った写真となってしまうので注意すること。

8) (ウイルス対策)

a 受注者は、電子媒体が完成した時点で、ウイルスチェックを行う。

b ウイルス対策ソフトは特に指定しないが、信頼性の高いものを利用する。

最新のウイルスも検出できるように、ウイルス対策ソフトは常に最新のデータに更新（アップデート）したものを利用する。

4 工事記録写真帳の提出

工事記録写真帳の提出は、次によるものとする。

- a 他の工事関係資料とは別の電子媒体に格納し、独立して電子媒体の枚数を数えるものとする。
- b 電子媒体のフォーマット形式は、工事監督員と協議のうえ決定するものとする。
- c 電子媒体の表記は、「工事番号」、「工事名称（工事写真）」、「作成年月日」、「発注者名称」、「受注者名称」、「現場代理人氏名」、「何枚目／総枚数」、「ウイスルチェックに関する情報」、「フォーマット形式」を明記する。

デジタル写真フォルダの編集例（建築・電気・機械）

工事件名	分類			
	大分類	中分類	小分類	細分類
	(建物工事名称)	(工種)*	(撮影項目)*	(撮影対象)*
□ ○○建築工事	〆 ○○棟	〆 共通事項	〆 敷地内外の状況 〆 建設副産物・産廃物 〆 安全対策 〆 仮設物・掲示物	〆 建設副産物処理 〆 産廃物処理 〆 足場管理
		〆 仮設工事	〆 ベンチマーク 〆 仮囲い 〆 仮設道路	〆 各ポイント 〆 各遠景・近景、計測
		〆 土工事	〆 根伐 〆 埋戻し・残土処分	〆 根伐深
		〆 地業工事	〆 埋込杭施工 〆 切込砂利地業	〆 杭施工 〆 杭芯ずれ・補強 〆 汚泥処分状況
		〆 鉄筋工事	〆 鉄筋の組立	〆 柱 〆 梁
		〆 コンクリート工事	〆 型枠工事 〆 コンクリートの打設	〆 試験 〆 施工状況
□ ○○電気設備工事	〆 ○○棟	〆 共通事項	〆 敷地内外の状況 〆 建設副産物・産廃物	〆 建設副産物処理 〆 産廃物処理
		〆 仮設工事	〆 仮設工事全体	〆 切り廻し配管 屋外No.1
		〆 配管工事	〆 埋込・隠ぺい配管	〆 コンクリート埋設部分及び天井裏の隠ぺい配管の施工状況 △階No.1
□ ○○機械設備工事	〆 ○○棟	〆 共通事項	〆 敷地内外の状況 〆 建設副産物・産廃物	〆 建設副産物処理 〆 産廃物処理
		〆 仮設工事	〆 特別仮設	〆 仮設足場 △階No.1
		〆 配管工事	〆 配管材料 〆 施工状況 〆 試験	〆 A材料 a規格
		〆 保温・塗装及び防錆工事	〆 配管材料 〆 施工状況	

注1 フォルダの構成は撮影要領の撮影基準別表(1)～(4)の撮影対象を参考にする。

(注) *は撮影要領の撮影基準別表(1)～(4)の区分を示している。

注2 本表は参考例であり、実際のフォルダ構成は工事規模や特殊性を勘案して適宜変更する。

注3 画像ファイルのみでは施工内容が不明確な場合は、説明文や説明図などをテキストファイル又はビットマップファイルなどに編集する。説明すべき画像データを納めているフォルダに画像ファイルと同一名称(拡張子だけが異なる)ファイルとして保存する。

営繕工事デジタル写真整理一覧表

(工事件名：○○○○○○○○○○工事)

建築工事編

大分類 (建物工事名称)	中分類 (工種)	小分類 (項目)	細分類 (撮影対象)	
○○棟建築工事	共通事項	敷地内外の状況	敷地の状況 敷地の境界 既設・近隣建物等	
		障害物	埋設物等障害物・処理状況	
		建設副産物・建設産業廃棄物・リサイクル	廃棄物等の状況 廃棄物等の集積・分別 廃棄物等の搬出 処理施設等 リサイクル処理 再生資源の利用 発生材	
		安全対策等	足場管理 労災管理 環境対策	
		仮設物・掲示物	監督員詰所等 資材置場・機材置場 その他仮設物 許認可標識等	
		使用機械	機械仕様	
		使用材料	材料・保管状況	
		数量確認	必要数量	
		試験	試験状況	
		災害及び事故	事故状況・復旧状況	
		解体及び改修・移設に伴う解体	着工前 施工状況 完了	
		仮設工事	縄張り	全 景
			ベンチマーク(B.M) 遺 方	全 景 施工状況 完了
	仮囲い・ゲート		完了	
	仮設道路		着工前 施工状況 出来形 完了	
	仮設排水		水替え・放流先の状況	
	土工事	地 割 り	施工状況	
		山 止 め	山止め材 完了 抜取り	
		根 伐	施工状況 床付け 完了	
		埋戻し (盛土)	施工状況 完了	
		整 地	全 景	
		残土処分	土砂搬出 捨場状況 完了	

大分類 (建物工事名称)	中分類 (工種)	小分類 (項目)	細分類 (撮影対象)
	地業工事 (1)杭打地業	杭打地業共通	杭材運搬・搬入 杭材集積 杭材料・規格 使用機械 アースオーガー・やっこ 杭芯の確認 継手施工・継手溶接材 杭の芯ずれ測定 芯ずれ補強 杭頭補強・キャップ 全 景
		打込み杭 (打撃工法)	養 生 試験杭 建 込 掘削残土 やっこ施工 記 録 杭頭切断
		埋込杭 (プレ-リグ工法) (中掘り工法)	掘削状況 試験掘削・支持層確認 試験杭・本杭建込 根固め液・杭周固定液 液の調合・計量 液の注入・サンプル採取 汚泥処理
		(2)切込砂利地業 (3)捨コンクリート (4)床下防湿層	施工状況 出 来 形 完 了
	鉄筋工事	鉄筋の組立	材料・保管状況 各部の配筋状況・補強筋 圧接 試験
	コンクリート工事 (現場施工コンクリート)	型枠	材料 墨出し・建込 完了
		コンクリート打設	各種養生 テストピース 塩分試験・強度試験 打設状況 打継処理・補修 出来形計測
	(工場製作コンクリート工事)	製作	型枠の検査 配筋状況 取付金物 完了
		取付	施工状況 プレスト導入状況
	鉄骨工事	工場加工	材 料 現寸検査 加工・溶接状況 加工完了・寸法計測 超音波探傷試験

大分類 (建物工事名称)	中分類 (工種)	小分類 (項目)	細分類 (撮影対象)
		錆止め	材 料 施工状況
		アンカーボルト	材 料 セット状況
		柱底ならし	施工状況
		コンクリート埋込	埋込部分の状況
		鉄骨建方	搬入状況 建方状況 現場溶接 建方完了
		高力ボルト	材 料 施工状況
		溶接部等試験	超音波探傷・抜取引張試験
		耐火被覆	材 料 吹付け・こて押さえ状況 各種試験 完了状況
ブロック及びハ°礼工事 (1)ブロック工事	ブロック積・まぐさ	施工状況 完了状況	
	(2)パネル工事	ハ°礼材料・副材料 ハ°礼建込 完了状況	
断熱工事	成形断熱材（発泡プラスチック保温材・繊維系保温材）	材 料 施工・補修状況 防湿層	
	現場発泡断熱材(吹付け硬質ウレタンフォーム)	材 料 施工・補修状況 計測・防湿層	
	現場吹付断熱材(繊維系保温材)	材 料 施工・補修状況 計測・防湿層	
防水工事 (1)アスファルト防水	防水層(下地含む)	施工状況	
	保護層	施工状況	
	(2)合成高分子 ルーフィング 防水	防水層(下地含む)	施工状況
	(3)塗膜防水	防水層(下地含む)	施工状況
(4)シーリング	シーリング	施工状況	
石工事		材料・取付金物 取付状況	
タイル工事	タイル張り	材料・施工状況 たたき検査・引張接着試験 完了状況	
木工事	機材類	材料・防腐剤処理	
	建 方	軸組等の建方、金物の取付 完了状況	
	窓出入口・枠壁下地組	施工状況 完了状況	
屋根工事 (1)長尺金属板葺	防水層	施工状況 完了状況	
	下葺き・葺き方	施工状況 完了状況	
(2)折板葺	折 板	施工状況 完了状況	

大分類 (建物工事名称)	中分類 (工種)	小分類 (項目)	細分類 (撮影対象)
	金属工事	金属製品	材 料 取付状況 完了状況
		軽量鉄骨 (天井・壁下地)	材料・各部施工状況 完了状況
	左官工事	(珪藻土塗)	材料・調合 下地処理・養生・補修 壁塗・床塗 均し珪藻土・珪藻土充填 完了状況
		(珪藻土パテリコ材塗)	材料・調合 下地処理・養生・補修 施工状況 レベル試験
		(仕上塗材仕上げ)	材料・調合 下地処理・養生・補修 施工状況 完了状況
	建具工事	木製建具	材料・寸法測定 骨組み加工・組立・塗装 取 付
		PVC建具	材料・寸法測定 骨組み加工・組立・塗装 取 付
		金属建具 (アルミニウム・ステンレス・鋼製建具)	材 料 制作・塗装 取 付
		ガラス工事	材 料 取 付
	内装工事 (1)合成樹脂製床	シート張り	施工状況
		タイル張り	施工状況
		合成樹脂塗床	施工状況
(2)フローリング床張り		釘留め工法	施工状況
		接着工法	施工状況
(3)壁(天井)ボード張り		張り工法(下地組)	施工状況
		直張り	施工状況
(4)壁(天井)壁紙・クロス張り		張り工法(下地組)	下地処理
			施工状況
(5)壁(天井)吸音材張り			施工状況
ユニット工事	黒板・家具・サイン等の製品	施工状況	
舗装工事	アスファルト舗装	路床・路盤 プライムコート・タックコート 出来形	
排水工事		材 料 施工状況 出来形	
植栽工事		高木・中木類 株物・芝類 客土・土質改良・施肥	
擁壁・塀工事		材 料 施工状況 出来形	

大分類	中分類	小分類	細分類
(建物工事名称)	(工種)	(項目)	(撮影対象)
	屋外付帯作工物工事	防球柵・支柱基礎類、砂場 ほかの外構付帯構造物類	施工状況 出来形
	雑工事		施工状況
	(1)砂利敷		完了状況
	(2)縁石・境界石		材料・施工状況 完了状況

営繕工事デジタル写真整理一覧表

(工事件名：○○○○○○○○○○工事)

電気設備工事編

大分類 (建物工事名称)	中分類 (工種)	小分類 (項目)	細分類 (撮影対象)
○○棟電気設備工事	共通事項	※建築工事編による	※建築工事編による
	配管工事	機材	搬入時
		施工状況	配管の敷設状況
		清掃	着手前 清掃後
	配線工事	機材	搬入時
		施工状況	通線及びケーブルの布設・結束状況
		試験	各種
	配線器具取付工事	機材	搬入時
		施工状況	支持材施工状況 配線の接続状況 機器の取付状況
		試験	各種
	照明器具取付工事	機材	搬入時
		施工状況	支持材施工状況 配線の接続状況 機器の取付状況
		試験	各種
	外灯取付工事	機材	搬入時
		施工状況	支持材施工状況 配線の接続状況 機器の取付状況
		試験	各種
	分電盤・端子盤・制御盤・実験盤・開閉器箱・OA盤等取付工事	機材	工場製作過程 工場検査 搬入時各機材ごと
		施工状況	支持材施工状況 配線の接続状況 機器の取付状況
		試験	各種
	拡声設備・テレビ共聴設備・電話設備・火災報知設備・LAN設備等機材器具取付工事	機材	搬入時各機材ごと
		施工状況	支持材施工状況 配線の接続状況 機器の取付状況
		試験	各種
	受配電設備工事	機材	製作工程 動作試験・各種測定
		施工状況	基礎 搬入・据付
		試験	動作試験・各種測定
	発電機工事	機材	製作工程 動作試験・各種測定
		施工状況	基礎 搬入・据付
試験		動作試験・各種測定	
接地工事	機材	搬入時	
	施工状況	掘削・埋戻 設置	
	試験	各種現場試験等	

大分類 (建物工事名称)	中分類 (工種)	小分類 (項目)	細分類 (撮影対象)
	地中配線工事	機材	搬入時
		施工状況	掘削・埋戻 地中配管及びケーブル配線状況 マンホール・ハットホール設置状況
		試験	各種現場試験等
	電熱設備工事	機材	搬入時
		施工状況	土工 敷設 復旧
		試験	各種現場試験等
	雷保護設備	機材	搬入時
		施工状況	取付状況
		試験	各種現場試験等

営繕工事デジタル写真整理一覧表

(工事件名：○○○○○○○○○○工事)

機械設備工事編

大分類 (建物工事名称)	中分類 (工種)	小分類 (項目)	細分類 (撮影対象)		
○○棟機械設備工事	共通事項	※建築工事編による	※建築工事編による		
	共通工事	スリーブ・インサート工事	材料		
			施工状況		
		土工事	浄化槽・地下タンク等		
			埋設管等		
		コンクリート工事	躯体工事		
			機械基礎工事		
		塗装工事	材料		
			施工状況		
		保温・防露工事	材料		
	施工状況				
	防錆工事	材料			
		施工状況			
	左官工事	材料			
		施工状況			
	鋼材工事	材料			
		施工状況			
	空気調和設備工事 (1)暖房設備	配管工事	材料		
			施工状況		
			漏えい試験		
		機器	機材		
			据付状況		
			試験調整等		
		試験	試験調整等		
			(2)冷房設備	配管工事	材料
					施工状況
		漏えい試験			
		機器	機材		
			据付状況		
	試験調整等				
	試験	試験調整等			
		(3)換気設備	ダクト工事	材料	
				施工状況	
	漏えい試験				
	機器	機材			
		据付状況			
		試験調整等			
	試験	試験調整等			
		(4)自動制御設備	配管・配線	材料	
				施工状況	
漏えい試験					
機器	機材				
	据付状況				
	試験調整等				
試験	試験調整等				
	衛生設備工事 (1)屋外給水設備	配管	材料		
			施工状況		
(2)屋内給水設備	配管	材料			
		施工状況			
		漏えい試験			
		配管洗浄			
	機器	機材			
		施工状況			
試験	試験調整等				

大分類 (建物工事名称)	中分類 (工種)	小分類 (項目)	細分類 (撮影対象)		
	(3)屋外排水設備	配管	材料		
			施工状況		
		排水枺		材料	
				施工状況	
	(4)屋内排水設備	配管		材料	
				施工状況	
		金具		材料	
				施工状況	
	(5)衛生器具設備	衛生器具		機材	
				施工状況	
	(6)給湯設備	配管		材料	
				施工状況	
				漏えい試験	
				配管洗浄	
			機器		機材
					施工状況
	試験		試験調整等		
	(7)ガス設備	配管		材料	
				施工状況	
				漏えい試験	
			機器		機材
					施工状況
			試験		試験調整等
	(8)消火設備	配管		材料	
				施工状況	
				漏えい試験	
			機器		機材
施工状況					
試験				試験調整等	
(9)ガス漏れ警報設備	機器		機材		
			施工状況		
		試験		試験調整等	
浄化槽工事	機器		機材		
			施工状況		
さく井工事	仮設				
			掘削	機器 施工状況	
	ケーシング・ストレーナー		機材		
			挿入		
	玉砂利		資材		
			充てん		
	ポンプ配管		機材		
施工状況					
試験		試験調整等			
昇降機工事	機材		機材		
			施工状況		
		試験		試験調整等	